

沖縄県土木建築部
土木工事成績評定のガイドライン

令和2年2月

沖縄県土木建築部

目 次

I	<u>土木工事成績評定のガイドラインの趣旨</u>	P 1
II	土木工事成績評定の運用における留意事項	P 2
	【資料-1】細目別評定点採点表（標準・a評価の場合）	P 1 2
	【資料-2】出来形管理・品質管理の評定に係る体系 . . .	P 1 4
	【資料-3】評定（出来形管理・品質管理）の事例 . . .	P 1 5
	【資料-4】管理能力図及びばらつき判定	P 1 7
III	土木工事成績評定基準	P 2 0
	（別紙-1）考査項目の考査項目別運用表（現場監督員） .	P 2 1
	（別紙-2）考査項目の考査項目別運用表（主任監督員） .	P 3 3
	（別紙-3）考査項目の考査項目別運用表（検査員） . . .	P 3 8
	（別紙-4）ばらつきの考え方（出来形及び品質管理） . .	P 8 8
	（別紙-5）「施工プロセス」のチェックリスト（案） . . .	P 8 9

I 土木工事成績評定のガイドラインの趣旨

沖縄県土木建築部における土木工事成績評定については、「工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表」により評価を行い、これを公表している。

今回、工事成績評定の指標となる「沖縄県土木建築部 土木工事成績評定のガイドライン」は、

- ① 土木工事成績評定の指針として、
さらに、当該ガイドラインの公表を行うことで
- ② 受注者の技術レベルの向上
- ③ 社会基盤施設となる工事目的物の品質向上を目的としている。

Ⅱ 土木工事成績評定の運用における留意事項

土木工事成績評定における「出来形管理」及び「品質管理」項目の配点の重みが大きいかは、【資料-1】細目別評定点採点表に、示すとおり、評定細別が全て a 評価の場合、品質管理が17.4%、次に出来形管理が14.9%と高いウエイトを占めている。その内、加点35点の内訳では、「品質管理」が22.9%、「出来形管理」が16.0%と両方で39%も占めている。このことは、「出来形管理」及び「品質管理」がいかに重要で、かつ密接・相互に関連していることを示すものである。

当該ガイドラインは、国土交通省の標準考査項目別運用表（地方自治体運用）等を参考に、「出来形管理」及び「品質管理」に係る成績評定の運用について取りまとめてあり、特に測定値の a 判定～c 判定の評定方法や新たに測定数による評定等が追加され、より厳格化されている。

1 出来形管理・品質管理の評定方法

(1) 評定の対象工種

- ① 「主たる工種」によって評価する。（現場監督員・検査員）
★主たる工種の判断：本工事費の金額の大きさを基本とし、「金額以外の重要な工種」も踏まえて総合的に判断する。
- ② 多工種の場合は、最大3工種に絞って評価する。（現場監督員・検査員）
- ③ 主たる工種、又は最大3工種の選定については、工事着手前の施工打合せ時に協議を行い、施工計画書にその旨記載する。

(2) 出来形管理

1) 一次評価（測定項目ごと）

- ① 測定項目のばらつきの判断は「別紙-4」を参照し、以下のとおりとする。

■規格値（設計値との差）が上・下限値

■規格値が下限値、又は上限値のみで重要な測定項目

ア：各種舗装工の厚さ t （-）

イ：吹付工（コンクリート・モルタル）の厚さ t （-）

ウ：アンカー工の配置誤差 d （+）

エ：各種基礎工の偏心量 d （+）

オ：各種基礎工の傾斜（+）

カ：地中連続壁工（壁式・柱列式）の変位（+）

キ：浚渫船運転工（グラブ・バックホウ浚渫船）の基準高 ∇ （+200mm以下）

★管理手法

（-）：その絶対値を仮想上限値として管理する。

（+）：設計値を目標（中央）値として管理する。

ただし、キ：浚渫工は、機種、能力及び実績などを検討のうえ、監督職員と協議し、下限値を設定して管理する。

②【測定数による一次評価】

測定数で判定する。

測定数は、10点以上と9点以下で分けする。

区分の10点は、以下の事項を考慮

■舗装工の表層・路盤厚さにおける10点以上は、平均厚さの規格値も同時に満足する必要があること。

■平均値の規格値もある試験項目（現場密度等）については、平均値の規格値も同時に満足する必要がある。

1工事3千 m^3 超の舗装工事の場合は、1ロット10孔の試験測定となっている。

【10点以上】

判定条件：すべての測定値が規格値を満足していること。

a 判定：規格値50%以内に測定数 8 割以上が入っている。
ただし、残りの 2 割以下の測定値が80%超に入っている場合は、b 判定とする。

b 判定：規格値80%以内に測定数 8 割以上が入っている。

c 判定：a、bに該当しない。

(具体には、規格値80%超に測定数 2 割超が入っている場合)

【9点以下】

判定条件：すべての測定値が規格値を満足していること。

b 判定：規格値50%以内に測定数 8 割以上が入っている。

c 判定：bに該当しない。(ばらつき度が80%以内、又は80%を超える)

注1)「a 判定」はなし。測定数10点以上(標準)よりばらつき判定は、1ランクダウンとなる。

注2) 必要以上に測定基準を超えて測定数を10個以上としてはいけない。

③ 主たる工種の評定

ア. 主たる工種(舗装工など)の複数の測定項目について、それぞれの項目毎に(a、b、c)を判定する。

イ. その中で最もばらつきが悪い判定をその工種の判定とする。【現場監督員】

【検査員】の評定は、以下のとおり。

ア. ばらつき度の判定：最もばらつきが悪い判定をその主たる工種の評定とする。

イ. 該当項目数：評価した項目数

ウ. 上記ア. ばらつき度とイ. 該当項目数より、出来形総合評価を行う。

2) 二次評価（工種）及び三次評価（3工種全体）

① 主たる工種の場合

上記③ 主たる工種の判断で決定となる。

（1つでもbがあればb判定、cがあればc判定となる）

② 最大3工種の場合

・ 二次評価：それぞれの工種毎に主たる工種同様の判定を行い評価する。

・ 三次評価：その中で最もばらつきが悪い判定を、工事全体の判定とする。【現場監督員】

（最大3工種で全てaの場合、a判定となる。

1つでもbがあればb判定となる。

1つでもcがあればc判定となる。）

【検査員】の評定は、以下のとおり。

ア. ばらつき度の判定：最もばらつきが悪い判定を、工事全体の評定とする。

イ. 該当項目数：評価した項目数

ウ. 上記ア. ばらつき度とイ. 該当項目数より、出来形総合評価を行う。

(3) 品質管理

1) 一次評価（測定項目ごと）

- ① 測定項目のばらつき判断は「別紙-4」を参照し、以下のとおりとする。

■規格値（設計値との差）が上・下限値

■規格値が下限値、又は上限値のみで重要な測定項目

ア：舗装工の現場密度（個々；規格値以上）

イ：舗装工の現場密度（平均；規格値以上）

ウ：コンクリートの圧縮強度（平均；呼び強度以上）

★管理手法

（規格値以上）：理論密度を100%（中央値）として
下側管理として管理する。

（呼び強度以上）：配合設計の標準偏差 σ を用いて管理
する。以下4）を参照

- ②【測定数による一次評価】

測定数で判定する。

測定数は、10点以上と9点以下で区分けする。

【10点以上】

判定条件：すべての測定値が規格値を満足していること。

a 判定：規格値50%以内に測定数8割以上が入っている。

ただし、残りの2割以下の測定値が80%超に入っている場合は、b判定とする。

b 判定：規格値80%以内に測定数8割以上が入っている。

c 判定：a、bに該当しない。

（具体には、規格値80%超に測定数2割超が入っている場合）

【9点以下】

判定条件：すべての測定値が規格値を満足していること。

b 判定：規格値50%以内に測定数8割以上が入っている。

c 判定：bに該当しない。（ばらつき度が80%以内、又は80%を超える）

注1)「a判定」はなし。測定数10点以上（標準）よりばらつき判定は、1ランクダウンとなる。

注2) 必要以上に測定基準を超えて測定数を10個以上としてはいけない。

③ 主たる工種の評定

ア. 主たる工種（舗装工など）の複数の測定項目について、それぞれの項目毎に（a、b、c）を判定する。

イ. その中で最もばらつきが悪い判定をその工種の判定とする。【現場監督員】

【検査員】の評定は、以下のとおり。

ア. ばらつき度の判定：最もばらつきが悪い判定をその主たる工種の評定とする。

イ. 該当項目数：評価した項目数

ウ. 上記ア. ばらつき度とイ. 該当項目数より、品質総合評価を行う。

2) 二次評価（工種）及び三次評価（3工種全体）

① 主たる工種の場合

上記③ 主たる工種の判断で決定となる。

（1つでもbがあればb判定、cがあればc判定となる）

② 最大3工種の場合

・ 二次評価：それぞれの工種毎に主たる工種同様の判定を行い評価する。

・ 三次評価：その中で最もばらつきが悪い判定を、工事全体の判定とする。【現場監督員】

（最大3工種で全てaの場合、a判定となる。

1つでもbがあればb判定となる。

1つでもcがあればc判定となる。）

【検査員】の評定は、以下のとおり。

ア. ばらつき度の判定：最もばらつきが悪い判定を、工事全体の評定とする。

イ. 評価値：最大3工種の総合評価値

ウ. 上記ア. ばらつき度とイ. 総合評価値より、「判断基準」に基づいて品質総合評価を行う。

(4) コンクリート工圧縮強度のばらつき判断（一次）

- ① コンクリート工については、新たに配合強度（目標）とその標準偏差に基づいて、圧縮強度のばらつき管理を以下のとおり追加する。

【追加理由】

重要構造物（橋梁下部工・上部工、擁壁工、カルバート工など）が100年耐久性確保の観点から水セメント比が50%以下を求められ、呼び強度が30Mpaと高強度（PCプレストレストコンクリートの最低強度でもある）となっていることである。

そのため、現場では、温度ひび割れによるカルバート側壁の貫通ひび割れ、橋梁下部工の表層ひび割れ、地覆工の温度ひび割れが発生している。

また、受け入れる生コンクリートも過剰強度（呼び強度の1.5倍）が散見されることから、社会基盤施設となる重要構造物の品質を確保することは、品確法の趣旨から重要な課題となっている。

- ② ばらつきの管理基準

生コンクリート配合報告書に基づくと、

呼び強度 S_L （下限値）、標準偏差 σ 及び正規分布より

■ 配合強度（目標値）= $S_L + 2.5\sigma$ (A)

0.5 σ は、呼び強度 S_L 未満と許容

■ 上限値=配合強度+3.0 σ = $S_L + 5.5\sigma$ (B)

【+50% ~ -50%】

■ +50% = 配合強度（目標値）+1.5 σ = $S_L + 4.0\sigma$. . . (C)

■ -50% = $S_L + 1.25\sigma$ (D)

【+80% ~ -80%】

■ +80% = 配合強度（目標値）+2.4 σ = $S_L + 4.9\sigma$. . . (E)

■ -80% = $S_L + 0.5\sigma$ (F)

(5) 管理能力図及びばらつき判定の事例

参考として、(資料-4)に、一規格値の場合【出来形管理】、現場密度(個々)及び平均 $\times 10$ 【品質管理】及びコンクリート工圧縮強度【品質管理】のばらつき判定事例を示す。

以上

【資料-1】

細目別評定点採点表

【標準の場合】

加点(35点)
の構成率

項目	細別	①現場監督員	②主任監督員	③検査員(中間・一部)	④検査員(完成)	細目別評定表	得点割合
1. 施工体制	I. 施工体制一般	$(0) \times 0.4 + 2.9 = 2.9$ 点				2.9 / 3.3点	0.878
	II. 配置技術者	$(0) \times 0.4 + 2.9 = 2.9$ 点				2.9 / 4.1点	0.707
2. 施工状況	I. 施工管理	$(0) \times 0.4 + 2.9 = 2.9$ 点		$(0) \times 0.4 + 6.5 =$ 点	$(0) \times 0.4 + 6.5 = 6.5$ 点	9.4 / 13.0点	0.723
	II. 工程管理	$(0) \times 0.4 + 2.9 = 2.9$ 点	$(0) \times 0.2 + 3.2 = 3.2$ 点			6.1 / 8.1点	0.753
	III. 安全対策	$(0) \times 0.4 + 2.9 = 2.9$ 点	$(0) \times 0.2 + 3.3 = 3.3$ 点			6.2 / 8.8点	0.704
	IV. 対外関係	$(0) \times 0.4 + 2.9 = 2.9$ 点				2.9 / 3.7点	0.783
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	$(0) \times 0.4 + 2.8 = 2.8$ 点		$(0) \times 0.4 + 6.5 =$ 点	$(0) \times 0.4 + 6.5 = 6.5$ 点	9.3 / 14.9点	0.624
	II. 品質	$(0) \times 0.4 + 2.9 = 2.9$ 点		$(0) \times 0.4 + 6.5 =$ 点	$(0) \times 0.4 + 6.5 = 6.5$ 点	9.4 / 17.4点	0.540
4. 工事特性	III. 出来映え			$(0) \times 0.4 + 6.5 =$ 点	$(0) \times 0.4 + 6.5 = 6.5$ 点	6.5 / 8.5点	0.764
	I. 施工条件等への対応		$(0) \times 0.2 + 3.3 = 3.3$ 点			3.3 / 7.3点	0.452
5. 創意工夫	I. 創意工夫	$(0) \times 0.4 + 2.9 = 2.9$ 点				2.9 / 5.7点	0.508
	I. 地域への貢献等		$(0) \times 0.2 + 3.2 = 3.2$ 点			3.2 / 5.2点	0.615
7. 法令遵守等			0点			0	
合計		$(0) \times 0.4 + 26 = 26$ 点	$(0) \times 0.2 + 13 = 13$ 点		$(0) \times 0.4 + 26 = 26$ 点	65 / 100点	
8. 総合評価 技術提案	技術提案履行確認						

※ 中間・一部完成検査があった場合
中間・一部完成検査がなかった場合
 $(1) + (2) + (3) \times 0.5 + (4) \times 0.5 =$ 細目別評定点(中間、一部完成が2回以上の場合は③を平均する)
 $(1) + (2) + (4) =$ 細目別評定点

※ 得点割合は、細目評定点の合計に対する得点の割合を百分率で示す。

※ 総合評価技術提案は、技術提案の履行が確認できない場合には『不履行』を選択する。
別記様式第2(土木工事)

細目別評定点採点表

【a 評価の場合】

100点の
構成率

項目	細 別	①現場監督員	②主任監督員	③検査員(中間・一部)	④検査員(完成)	細目別評定表	得点割合
1. 施工体制	I. 施工体制一般	$(1) \times 0.4 + 2.9 = 3.3$ 点				3.3 / 3.3点	1,000
	II. 配置技術者	$(3) \times 0.4 + 2.9 = 4.1$ 点				4.1 / 4.1点	1,000
2. 施工状況	I. 施工管理	$(4) \times 0.4 + 2.9 = 4.5$ 点		$(0) \times 0.4 + 6.5 =$ 点	$(5) \times 0.4 + 6.5 = 8.5$ 点	13.0 / 13.0点	1,000
	II. 工程管理	$(4) \times 0.4 + 2.9 = 4.5$ 点	$(2) \times 0.2 + 3.2 = 3.6$ 点			8.1 / 8.1点	1,000
	III. 安全対策	$(5) \times 0.4 + 2.9 = 4.9$ 点	$(3) \times 0.2 + 3.3 = 3.9$ 点			8.8 / 8.8点	1,000
	IV. 対外関係	$(2) \times 0.4 + 2.9 = 3.7$ 点				3.7 / 3.7点	1,000
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	$(4) \times 0.4 + 2.8 = 4.4$ 点		$(0) \times 0.4 + 6.5 =$ 点	$(10) \times 0.4 + 6.5 = 10.5$ 点	14.9 / 14.9点	1,000
	II. 品質	$(5) \times 0.4 + 2.9 = 4.9$ 点		$(0) \times 0.4 + 6.5 =$ 点	$(15) \times 0.4 + 6.5 = 12.5$ 点	17.4 / 17.4点	1,000
4. 工事特性	III. 出来映え			$(0) \times 0.4 + 6.5 =$ 点	$(5) \times 0.4 + 6.5 = 8.5$ 点	8.5 / 8.5点	1,000
	I. 施工条件等への 対応		$(20) \times 0.2 + 3.3 = 7.3$ 点			7.3 / 7.3点	1,000
5. 創意工夫	I. 創意工夫	$(7) \times 0.4 + 2.9 = 5.7$ 点				5.7 / 5.7点	1,000
6. 社会性等	I. 地域への貢献等		$(10) \times 0.2 + 3.2 = 5.2$ 点			5.2 / 5.2点	1,000
7. 法令遵守等			0 点			0 / 0点	1,000
合 計		$(35) \times 0.4 + 26 = 40$ 点	$(35) \times 0.2 + 13 = 20$ 点		$(35) \times 0.4 + 26 = 40$ 点	100.0 / 100点	
8. 総合評価 技術提案	技術提案履行確認						

※ 中間・一部完成検査があった場合
中間・一部完成検査がなかった場合
 $(1) + (2) + (3) \times 0.5 + (4) \times 0.5 =$ 細目別評定点(中間、一部完成が2回以上の場合は③を平均する)
 $(1) + (2) + (4) =$ 細目別評定点

※ 得点割合は、細目評定点の合計に対する得点の割合を百分率で示す。

※ 総合評価技術提案は、技術提案の履行が確認できない場合には『不履行』を選択する。

出来形管理・品質管理の評定に係る体系

II 土木工事成績評定の運用における留意事項

1 出来形管理・品質管理の評定方法

(1) 評定の対象工種

- ①「主たる工種」によって評価する。
- ②多工種：最大3工種に絞って評価する。
- ③施工打合わせ時に、主たる工種、又は最大3工種の選定を協議

(2) 出来形管理

1) 一次評価（測定項目ごと）

- ①測定項目のばらつき度の判断：「別紙－４」を参照し、以下のとおり
- ②測定数による一次評価

【10点以上】

判定条件：すべての測定値が規格値を満足

- a判定：ばらつき度が50%以内（測定数8割以上が規格値50%以内、かつ残りは80%以内）
- b判定：ばらつき度が80%以内（測定数8割以上が規格値80%以内）
- c判定：a、bに該当しない（ばらつき度が80%を超える）

【9点以下】

- b判定：ばらつき度が50%以内
- c判定：bに該当しない（ばらつき度が80%以内、又は80%を超える）

注）a判定はなし。測定数10点以上（標準）よりもばらつき判定は1ランクダウンとなる。

③主たる工種の評定

- ・複数の測定項目について、それぞれの項目毎に（a、b、c）を判定
 - ・その中でもっともばらつきが悪い判定をその工種の評定とする。【現場監督員】
 - ・【検査員】の評定は、以下のとおり
 - ア、ばらつき度の判定：もっともばらつきが悪い判定を工事全体の評定とする。
 - イ、該当項目数：評価した項目数
 - ウ、上記ア、ばらつき度とイ、該当項目数より、出来形総合評価を行う。
- 2) 二次評価（工種）及び三次評価（3工種全体）
- ①主たる工種の場合：上記③の評定で決定
 - ②最大3工種の場合
 - ・二次評価：それぞれの工種毎に「主たる工種」同様の判定を行い評価
 - ・三次評価（全体）
 - ア、ばらつき度の判定：もっともばらつきが悪い判定を工事全体の評定とする。【現場監督員】
 - イ、該当項目数：評価した項目数
 - ウ、上記イ、ばらつき度とウ、該当項目数より、出来形総合評価を行う。【検査員】

(3) 品質管理

1) 一次評価（測定項目ごと）

- ①測定項目のばらつき度の判断：「別紙－４」を参照し、以下のとおり
- ②測定数による一次評価

【10点以上】

判定条件：すべての測定値が規格値を満足

- a判定：ばらつき度が50%以内（測定数8割以上が規格値50%以内、かつ残りは80%以内）
- b判定：ばらつき度が80%以内（測定数8割以上が規格値80%以内）
- c判定：a、bに該当しない（ばらつき度が80%を超える）

【9点以下】

- b判定：ばらつき度が50%以内
- c判定：bに該当しない（ばらつき度が80%以内、又は80%を超える）

注）a判定はなし。測定数10点以上（標準）よりもばらつき判定は1ランクダウンとなる。

③主たる工種の評定

- ・複数の測定項目について、それぞれの項目毎に（a、b、c）を判定
 - ・その中でもっともばらつきが悪い判定をその工種の評定とする。【現場監督員】
 - ・【検査員】の評定は、以下のとおり
 - ア、ばらつき度の判定：もっともばらつきが悪い判定を工事全体の評定とする。
 - イ、評価値：主たる工種の評価値
 - ウ、上記ア、ばらつき度とイ、評価値より、「判断基準」に基づいて品質総合評価を行う。
- 2) 二次評価（工種）及び三次評価（3工種全体）
- ①主たる工種の場合：上記③の評定で決定
 - ②最大3工種の場合
 - ・二次評価：それぞれの工種毎に主たる工種同様の判定を行い評価
 - ・三次評価（全体）
 - ア、ばらつき度の判定：もっともばらつきが悪い判定を工事全体の評定とする。【現場監督員】
 - イ、評価値：最大3工種の総合評価値
 - ウ、上記ア、ばらつき判定とイ、総合評価値より、「判断基準」に基づいて品質総合評価を行う。【検査員】

注）ばらつきのない工種（仮設工、補強土壁工）は対象外とする。

残りの工種でもっとも悪いばらつきで判定する。

評定（出来形管理・品質管理）の事例

★1 「主たる工種」のケース（舗装工事）

【出来形管理】

工種	種別	測定項目	規格値		単位	測定数	ばらつき判定		項目評価 (一次)	工種評価 (二次)	評定
			管理基準	協議			一次	二次			
アスファルト舗装工	下層路盤	基準高	±50		mm	10	50%以内	－	a	b	【現場監督員】 「b」をチェック 【検査員】 ①ばらつき度 「80%以内」 をチェック ②該当項目を チェック ③該当数3→ b 該当数2→ b
		厚さ(個々)	-45	±45	mm	10	50%以内	－	a		
		厚さ(10個平均)	-15		mm	1	－				
	上層路盤	厚さ(個々)	-30	±30	mm	10	50%以内	－	a		
		厚さ(10個平均)	-10		mm	1	－				
	表層	厚さ(個々)	-9	±9	mm	10	80%以内	－	b		
		厚さ(10個平均)	-3		mm	1	－				
	平坦性σ	2.4以下		mm	1 ロット	80%以内	－	b			

【品質管理】

工種	種別	測定項目	規格値		単位	測定数	ばらつき判定		項目評価 (一次)	工種評価 (二次)	評定
			管理基準	協議			一次	二次			
アスファルト舗装工	下層路盤	現場密度試験								b	【現場監督員】 「b」をチェック 【検査員】 ①ばらつき度 「80%以内」 をチェック ②該当項目を チェック ③評価値の割合 → a' ~ c
		X (個々)	93		%	10	50%以内	－	a		
	X10 (平均)	95		%	1	－					
	上層路盤	現場密度試験									
		X (個々)	93		%	10	50%以内	－	a		
		X10 (平均)	95		%	1	－				
表層	現場密度試験										
	X (個々)	94		%	3	50%以内	80%以内	b			
	X3 (平均)	96.5		%	1	－					

注) 平均値については、規格値以上であることを確認すること。

測定9点以下（標準以下）のばらつき判定は、測定10点以下（標準）よりも1ランクダウン

評定（出来形管理・品質管理）の事例

★2 「最大3工種」のケース（基本）

【出来形管理】

工種	種別	測定項目	規格値		単位	測定数	ばらつき判定		項目評価 (一次)	工種評価 (二次)	評定	全体評価 (三次)
			管理基準	協働			一次	二次				
土工	掘削	基準高	±50		mm	5	50%以内	80%以内	b	b		
	路体盛土	基準高	±50		mm	5	50%以内	80%以内	b			
	路床盛土	基準高	±50		mm	5	50%以内	80%以内	b			
コンクリート工	場所打擁壁工	基準高	±50		mm	10	50%以内	-	a	a		
	組立て	平均間隔d	±φ(22)		mm	15	50%以内	-	a			
	組立て	かぶりt	±φ(22)かつ 最小かぶり以上		mm	15	50%以内	-	a			
アスファルト舗装工	下層路盤	基準高	±50		mm	10	50%以内	-	a	b	【現場監督員】：「b」 【検査員】 ①ばらつき度：「80%以内」 ②該当数：2の場合 ↓ 「b'」	【監督員】 b 【検査員】 b'
		厚さ(個々)	-45	±45	mm	10	50%以内	-	a			
		厚さ(10個平均)	-15		mm	1	-	-	-			
	上層路盤	厚さ(個々)	-30	±30	mm	10	50%以内	-	a			
		厚さ(10個平均)	-10		mm	1	-	-	-			
	表層	厚さ(個々)	-9	±9	mm	10	80%以内	-	b			
厚さ(10個平均)		-3		mm	1	-	-	-				
		平坦性σ	2.4以下		mm	↓ ロット	80%以内	-	b			

【品質管理】

工種	種別	測定項目	規格値		単位	測定数	ばらつき判定		項目評価 (一次)	工種評価 (二次)	評定	全体評価 (三次)
			管理基準	協働			一次	二次				
土工	施工(路体)	現場密度	最大乾燥密度の90以上		%	3	50%以内	80%以内	b	b		
	施工(路床)	現場密度	最大乾燥密度の95以上		%	3	50%以内	80%以内	b			
コンクリート工		スランブ試験	±2.5		cm	5	50%以内	80%以内	b	c	【現場監督員】：「c」	
		コンクリートの圧縮強度試験	呼び強度以上	配合強度	N/mm ²	5	80%以内	80%を超	c			
		空気量測定	±1.5		cm	5	50%以内	80%以内	b			
アスファルト舗装工	下層路盤	現場密度								b	【検査員】 品質総合評価において <判断基準>を適用 ①ばらつき度：「80%超」 ②評価値：3工種合計の 評価項目数÷該当項目数 =75%の場合 ↓ 評定：「b'」	【監督員】 c 【検査員】 b'
		X(個々)	93		%	10	50%以内	-	a			
		X10(平均)	95		%	1	-	-	-			
	上層路盤	現場密度										
		X(個々)	93		%	10	50%以内	-	a			
		X10(平均)	95		%	1	-	-	-			
表層	現場密度											
	X(個々)	94		%	3	50%以内	80%以内	b				
	X3(平均)	96.5		%	1	-	-	-				

●判断基準

注) 平均値については、規格値以上であることを確認すること。

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

測定9点以下(標準以下)のばらつき判定は、測定10点以下(標準)よりも1ランクダウンとなる。

出来形管理・品質管理のばらつき判定

【出来形管理】

測定項目 規格値	測点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	ばらつき判定
①下層路盤 厚さ t -45mm	設計値との差																【50%内】● 15/15=100%
		仮想上限値 +45mm 仮想80% +36mm 仮想50% +22.5mm 設計値±0mm 50% -22.5mm 80% -36mm 下限値 -45mm															
		仮想上限値 +26mm 仮想80% +20mm 仮想50% +12.5mm 設計値±0mm 50% -12.5mm 80% -20mm 下限値 -25mm															
②上層路盤 厚さ t -25mm	設計値との差																【50%内】● 12/15=80% (≧80%)
		仮想上限値 +7mm 仮想80% +5.6mm 仮想50% +3.5mm 設計値±0mm 50% -3.5mm 80% -5.6mm 下限値 -7mm															
		仮想上限値 +7mm 仮想80% +5.6mm 仮想50% +3.5mm 設計値±0mm 50% -3.5mm 80% -5.6mm 下限値 -7mm															
③アスファルト舗装 厚さ t -7mm	設計値との差																【50%内】× 10/15=67% (<80%) 【80%内】● 15/15=100%
		仮想上限値 +7mm 仮想80% +5.6mm 仮想50% +3.5mm 設計値±0mm 50% -3.5mm 80% -5.6mm 下限値 -7mm															
		仮想上限値 +7mm 仮想80% +5.6mm 仮想50% +3.5mm 設計値±0mm 50% -3.5mm 80% -5.6mm 下限値 -7mm															

出来形管理・品質管理のばらつき判定

【品質管理】

測定項目 規格値	測点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	ばらつき判定
① 路床盛土 現場密度 90%以上	設計値との差	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 下限値が規程され、上限が決まっている（理論密度100%）場合 </div>										【50%内】● 8/10=80%
		上限 100% (理論値) 50% 95% 80% 92.5% 下限値 90%										
② 下層／上層路盤 現場密度 (個々) 93%以上 (平均 X 10) 95%以上	設計値との差	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 下限値が規程され、上限が決まっている（理論密度100%）場合 </div>										【50%内】● 9/10=90% >80%
		上限 100% (理論値) 50% 96.5% 80% 94.4% 下限値 93%										
③ 表層 現場密度 (個々) 94%以上 (平均 X 10) 96%以上	設計値との差	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 下限値が規程され、上限が決まっている（理論密度100%）場合 </div>										【50%内】× 8/10=80% (20% ≧ 80%) 【80%内】● 8/10=80% (≧ 80%)
		上限 100% (理論値) 50% 97% 80% 95.2% 下限値 94%										

2点が80%線に入っているため、ばらつき判定は80%以内となる。

出来形管理・品質管理のばらつき判定

【品質管理】

測定項目 規格値	測点	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	ばらつき判定
①コンクリート スランプ ±2.5cm	設計値との差											<p style="color: red;">● [50%内] 10/10=100%</p>
		<p>上限値 +2.5cm 80% +2.0cm 50% +1.25cm</p> <p>設計値±0mm</p> <p>60% -1.25m 80% -2.0cm 下限値 -2.5cm</p>										
		<p>上限値 +1.5% 80% +1.2% 50% +0.75%</p> <p>設計値±0%</p> <p>50% -0.75% 80% -1.2% 下限値 -1.5%</p>										
①コンクリート 空気量 ±1.5%	設計値との差											<p style="color: red;">● [50%内] 10/10=100%</p>
		<p>上限値 SL+5.5σ ; (B) 80% SL+4.9σ ; (E) 50% SL+4.0σ ; (C)</p> <p>目標値 (配合強度) SL+2.5σ ; (A)</p> <p>50% SL+1.25σ ; (D) 80% SL+0.5σ ; (F) 下限値 (呼び強度) SL</p>										
		<p>上限値 SL+5.5σ ; (B) 80% SL+4.9σ ; (E) 50% SL+4.0σ ; (C)</p> <p>目標値 (配合強度) SL+2.5σ ; (A)</p> <p>50% SL+1.25σ ; (D) 80% SL+0.5σ ; (F) 下限値 (呼び強度) SL</p>										
①コンクリート 圧縮強度 呼び強度SL (Mpa) 以上 標準偏差σ	設計値との差											<p style="color: red;">● [50%内] ✕ 1/10=10% (≒80%) ✕ [80%内] ✕ 5/10=50% (≒80%) ● [80%超] 5/10=50% (>20%)</p>
		<p>3σ 2.5σ 1.25σ 1.5σ 2.4σ 2.0σ</p>										
		<p>上限値を超えても、管理基準は呼び強度以上なのでOUTではない。 ただし、ひび割れ防止の観点から現場配合の確認を要する。</p>										

Ⅲ 土木工事成績評定基準

工事成績採点の審査項目別運用表

(現場監督員)

審査項目	細別	a	b	c	d	e
1. 施工体制	I. 施工体制一般	<input type="checkbox"/> 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」の手チェックのうち、施工体制一般について指示事項が無い。【必須】 <input type="checkbox"/> 改善指示が無い場合でも、関係書類で履行状況が不適切と判断される場合は、評価しない。 ★上記指示が無い場合でも、関係書類で履行状況が不適切と判断される場合は、評価しない。	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である <input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示がなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工体制一般について、左記の文書による改善指示に従わなかった場合は、「e評価」する。
		<input type="checkbox"/> 【検査員】 計画 施工計画書を、工事着手前に提出している。【必須】 <input type="checkbox"/> ①施工計画書を工事着手前に提出しており、重要な変更が生じた場合も、当該変更部分の工事着手前に「変更施工計画書」が提出されていること。 <input type="checkbox"/> ②施工計画書は、共通仕様書に規定された項目を満足していること。 <input checked="" type="checkbox"/> ★「工事着手」：準備期間を除いた全体工事（仮設工事を含む）への着手。工事開始日から最低30日間を確保（特記仕様書に定めがない場合は特記仕様書に準備期間の定めがある場合は、最低限の期間を確保する必要がある。（平成29年10月27日付、工技第796号を参照）	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である <input checked="" type="checkbox"/> 施工体制一般が不適切であったため、監督職員が文書での改善指示を行った場合は、「d評価」する。	<input type="checkbox"/> 不適切である <input checked="" type="checkbox"/> 施工体制一般が不適切であったため、監督職員が文書での改善指示を行った場合は、「d評価」する。
		<input type="checkbox"/> 【検査員】 計画 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。 <input type="checkbox"/> ①下請けがある工事を対象。下請けがない場合は評価対象としない。 <input type="checkbox"/> ②施工体制台帳に一次下請け、二次下請けなど工事施工を請け負う全ての業者について、業者名、施工範囲、技術者名、保険の加入状況など、必要な事項を記載していることが確認できること。 <input type="checkbox"/> ③施工体制台帳の写しを監督職員に提出し、現場に備え付けていることが確認できること。 <input type="checkbox"/> ④施工体制台帳に基づき、施工体系図を作成し、建設業者の名称と技術者名、下請人の名称、工期、技術者名などを明示し、各下請人の施工分担が確認できること。 <input type="checkbox"/> ⑤施工体系図の写しを監督職員に提出し、現場の工事関係者が見やすい場所に掲示していることが、工事写真等の関係資料で確認できること。 <input type="checkbox"/> ⑥施工体制台帳及び施工体系図に変更が生じた場合；その都度すみやかに監督職員にその写しを提出していること。 <input type="checkbox"/> ⑦施工体系図に記載の無い業者が作業していないか。	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示がなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工体制一般について、左記の文書による改善指示に従わなかった場合は、「e評価」する。
		<input type="checkbox"/> 【検査員】 計画 品質証明員が関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって実施して、品質証明に係る体制が有効に機能している。 <input checked="" type="checkbox"/> ★目的物の品質確保・向上のため、Aクラス以上の対象工事を基本とする。 <input checked="" type="checkbox"/> 品質証明員が指定されていない場合は、受注者からの発注により品質証明員を届け出て監督職員の承認を得ること。	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示がなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工体制一般について、左記の文書による改善指示に従わなかった場合は、「e評価」する。
		<input type="checkbox"/> 元請が下請の作業成果を検査している。 <input type="checkbox"/> ①下請けがある工事を対象とする。下請けがない場合は評価対象としない。 <input type="checkbox"/> ②下請けの作業成果に対して元請が日常的に検査（確認）し、その品質を元請として確認していること。 <input checked="" type="checkbox"/> ★下請けの作業成果の確認や技術指導等について、元請の関与が認められない場合は、評価しない。	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示がなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工体制一般について、左記の文書による改善指示に従わなかった場合は、「e評価」する。
		<input type="checkbox"/> 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。【必須】 <input type="checkbox"/> ①施工計画書に記載された施工方法と、実際の施工方法が一致していること。（必要施工計画書の提出が必要。）	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示がなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工体制一般について、左記の文書による改善指示に従わなかった場合は、「e評価」する。
		<input type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。 <input type="checkbox"/> ①該当事項が無い場合は、評価対象としない。 <input type="checkbox"/> ②緊急指示、自然災害、事故など予期せぬ事象に対して速やかに対応した場合は評価する。	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示がなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工体制一般について、左記の文書による改善指示に従わなかった場合は、「e評価」する。
		<input type="checkbox"/> 現場に対する本古や支店による支援体制を整えている。【必須】 <input type="checkbox"/> ①会社が、現場の施工体制や施工管理への支援体制を構築し、社内検査、店社パトロール、工程会議、工法検討会議など、現場の運営や品質を高める取り組みを実施していることが、会議の実施状況、議事録、その他関係資料で確認できる場合に評価する。 <input checked="" type="checkbox"/> ★「品質証明員」とは別に評価する。	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示がなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工体制一般について、左記の文書による改善指示に従わなかった場合は、「e評価」する。
		<input type="checkbox"/> 工場製作期間における技術者を適切に配置している。 <input type="checkbox"/> ①工場製作が無い場合は、評価対象としない。 <input type="checkbox"/> ②構築上部工の主桁、ポンプ、欄干等、工場製品の品質管理のための技術者を配置している場合に評価する。	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示がなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工体制一般について、左記の文書による改善指示に従わなかった場合は、「e評価」する。
		<input type="checkbox"/> 機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制（特種物の設定や確認方法等）を整えている。 <input type="checkbox"/> ①機械設備・電気設備工事以外の工事又は、機械設備・電気設備工事で工場製作が無い場合は、評価対象としない。 <input type="checkbox"/> ②製作工場において、社内検査の体制を構築し、製作を行っている場合に評価する。	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示がなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工体制一般について、左記の文書による改善指示に従わなかった場合は、「e評価」する。
<input type="checkbox"/> その他理由：	<input type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 不適切である <input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による改善指示がなかった。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工体制一般について、左記の文書による改善指示に従わなかった場合は、「e評価」する。		

●判断基準
 評価値が90%以上.....a
 評価値が80%以上90%未満.....b
 評価値が80%未満.....c

①当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。
 ②削除項目のある場合は削除後の評価項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。
 ③ 評価値(%) = (該当項目数) / (評価対象項目数)
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目数以下の場合はc評価とする。

工事成績採点の審査項目別運用表

(評価監査員)

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	I. 施工管理	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工管理について指示事項が無い。【必須】 <input type="checkbox"/> 改善指導等の指示が無いこと。 <input type="checkbox"/> 上記指示が無い場合：関係書類で履行状況が不適切と判断される場合は、評価しない。	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> やや不適切である <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監査員が文書による改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 不適切である <input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監査員からの文書による改善指示がなかった。	
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> ①改善指導等の指示が無いこと。 <input type="checkbox"/> ②上記指示が無い場合：関係書類で履行状況が不適切と判断される場合は、評価しない。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> ①設計図書が、設計図書及び仕様条件を反映したものでなっている。【必須】 <input type="checkbox"/> ②「現場での施工管理の内容」で、設計図書、現場条件と異なるものは評価しない。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> 現場条件の変化に対して、適切に対応している。 <input type="checkbox"/> ①現場条件の変化が無い場合は、評価対象としない。 <input type="checkbox"/> ②工事の施工過程で、天候、湧水、土質の変化、埋設物、埋蔵文化財、自然災害など、予期せぬ現場条件の変化に対して、速やかに監査員に報告するなど適切に対応していることが確認できること。 <input type="checkbox"/> ③上記②の問題を克服したことが、協議、報告書等の関係書類等で確認できること。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響が無いように保管している。 <input type="checkbox"/> ①保管方法が品質保持に資する工事を実施している。【必須】 <input type="checkbox"/> ②現場での工事材料の保管が完了した場合は、その材料の特質に応じて品質管理が適切に保管（養生）していることが確認できること。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画に基づき適切及び的確に行っている。【必須】 <input type="checkbox"/> ①設計図書、施工管理基準及び施工計画に基づいて出来形を管理しており、管理項目、管理基準、頻度を満足している。また、工程に遅れることなく、日常的な施工管理をしていることが、協議、報告書等関係書類で確認できること。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画に基づき適切及び的確に行っている。【必須】 <input type="checkbox"/> ①設計図書、施工管理基準及び施工計画に基づいて品質を管理しており、管理項目、管理基準、頻度を満足している。 <input type="checkbox"/> ②工程に遅れることなく、日常的な施工管理をしていることが、協議、報告書等関係書類で確認できること。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> 現場内の整理整頓を日常的に行っている。【必須】 <input type="checkbox"/> ①工事期間全体をおいて現場内の整理整頓を実施し、労働災害の防止に努めていること。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> 指定材料の品質証明書及び写真等を整理している。 <input type="checkbox"/> ①指定材料（設計図書に計上されている材料）が無い場合は、評価対象としない。 <input type="checkbox"/> ②指定材料の品質証明書（試験成績表、性能試験結果、ミルシート等）と設計図書や写真等を照合して、適正な品質を備えた材料を使用していることが確認できる。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> ③JISマーク表示品：JISマーク表示状態を写真で確認できること。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> 工事の打合せ簿を、不足無く整理している。【必須】 <input type="checkbox"/> ①契約書、共通仕様書で明記されている協議、報告を、適切な時期に提出し、不足なく整理していること。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。 <input type="checkbox"/> ①建設副産物の再利用、再資源化施設への搬出、産業廃棄物の処分が必要な工事を対象とする。それ以外は評価対象としない。 <input type="checkbox"/> ②再生資源利用（促進）計画及び再生資源利用実施計画を作成し、再生資源の利用に取組んでいること。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 <input type="checkbox"/> ①設計図書で、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械等の使用を求めている工事を対象とする。それ以外は評価対象としない。 <input type="checkbox"/> ②工事着手からしゅん工に至るまで、該当する全ての低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械を使用していることがシール等で確認できること。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> ③1台でも該当しない建設機械等を使用した場合は、評価しない。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> 労働保険、建設労災保険補償等加入が確認できる。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> 産業廃棄物の処理がマニュアルで確認できる。 <input type="checkbox"/> ①産業廃棄物の処分が必要な工事を対象とする。それ以外は評価対象としない。 <input type="checkbox"/> ②産業廃棄物：マニュアルで作業により、再資源化施設や最終処分場の処分及び処分量が確認でき、写真等で処分状況を確認できること。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> ③一般廃棄物：受入れ伝票で確認できること。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> 赤土等対策関係書類で浮遊物測定記録、見回り点検表は提出されている。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> 下請け契約について、明確な工事内容、請負代金の金額、工期、代金の支払い方法等が記載されている。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> その他理由：				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> 「港湾・空港関連工事」 <input type="checkbox"/> 航空局が定める「空港土木工事共通仕様書」「空港土木施設施工要領」「空港土木工事施行管理基準及び規格値」により管理されている。または、これらの基準に定められていない事項については、監査員と協議の上で定められた基準により管理されている。				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> ●判断基準 <input type="checkbox"/> 評価値が90%以上……………a <input type="checkbox"/> 評価値が80%以上90%未満……………b <input type="checkbox"/> 評価値が80%未満……………c				
	【検査員】 監査	<input type="checkbox"/> ① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 <input type="checkbox"/> ② 削除対象のある項目は削除後の評価項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。 <input type="checkbox"/> ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() <input type="checkbox"/> ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目数以下の場合はc評価とする。				

Ⅲ. 安全対策	適切である	ほぼ適切である	■	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設工（定機、土留め支保工等）を行う工事を対象とする。それ以外の工事は評価対象としない。</p> <p><input type="checkbox"/> ①組立完了時点検、定期点検、地震や台風時の臨時点検及び管理をチェックリストを用いてチェックしていること。</p> <p><input type="checkbox"/> 保安施設等の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき実施している。【必須】</p> <p><input type="checkbox"/> ①保安施設等の設置位置や配置が施工計画書や各種設置基準及び発注書や所轄警察署等との協議に基づき適切に設置及び管理しており、破壊や損傷が無く保安機能が保たれていること。点検管理記録等で確認できること。</p> <p><input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①地下埋設物及び架空線等がある又はその恐れがある場合は、事前に監督員への報告及び占有者への連絡、立会い要請等を実施し、事故防止に努めたことが確認できること。</p> <p><input type="checkbox"/> その他理由：</p>				<p>「港湾・空港関連工事」</p> <p><input type="checkbox"/> 港湾工事安全施工指針に基づき安全管理が行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 緊急時の体制及び対応と連絡体制が確立されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 保安施設や足場などが設置され管理されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 作業員休憩所等の作業環境の改善に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 航空法などの関係法規で定められている制限区域の遵守や、制限区域における工事の実施に係る諸規程などが守られている。</p> <p><input type="checkbox"/> 航空法に定める無線、電波、電力等の管理が適切に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 制限区域内に立ち入る場合、航空管理規則に従っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 制限区域外内における工事については、航空保安業務処理規程第10制限区域内工事実施規程による保安措置を講じている。</p> <p><input type="checkbox"/> 通常行われる工事の安全対策を確保している。</p>		
<p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上.....a</p> <p>評価値が80%以上90%未満.....b</p> <p>評価値が80%未満.....c</p>			<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目数以下の場合は○評価とする。</p>			
Ⅳ. 対外関係	適切である	ほぼ適切である	■	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
<p>「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、対外関係について指示事項が無い。【必須】</p> <p><input type="checkbox"/> ①改善指示等の指示が無いこと。</p> <p><input type="checkbox"/> ②上記指示が無い場合：関係書類で履行状況が不適切と判断される場合は、評価しない。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係官公庁などとの調整を行い、トラブルの発生がない。</p> <p><input type="checkbox"/> ①関係機関との調整が必要な工事を対象とする。それ以外の工事は評価対象としない。</p> <p><input type="checkbox"/> ②県、市町村、労基、警察署、消防署、占用企業、その他の関係機関への協議、調整した記録があり、トラブルの発生がないこと。</p> <p><input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生がない。</p> <p><input type="checkbox"/> ①地元との調整が必要な工事を対象とする。それ以外の工事は評価対象としない。</p> <p><input type="checkbox"/> ②工事説明会や個別訪問を行い、施工時期、施工時間、迂回路などの調整を行い、トラブルなく円滑に工事を進めていること。</p> <p><input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> ①地元第三者苦情が必要な工事を対象とする。それ以外の工事は評価対象としない。</p> <p><input type="checkbox"/> ②住環境や交通安全への配慮など、近隣住民や通行者に配慮して工事をを行い、工事期間をおいて苦情がなかった、若しくは、苦情に対して速やかに対応し、その後の苦情がないこと。</p> <p><input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①関連工事との調整が必要な工事を対象とする。それ以外の工事は評価対象としない。</p> <p><input type="checkbox"/> ②隣接工事や占用工事と工程や施工順序等の調整を行うことで、工程の遅れやトラブルなく円滑に工事を進めていること。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分かりやすく周知している。【必須】</p> <p><input type="checkbox"/> ①工事説明板などにより、工事の目的や効果等を地域住民に分かりやすく説明し、公共事業への理解を深める取り組みをしていること。</p> <p><input type="checkbox"/> その他理由：</p>				<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は削除後の評価項目を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数()</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目数以下の場合は○評価とする。</p>	<p>■ 対外関係が不適切であったため、監督員が改善指示を行った。</p> <p>■ 対外関係が不適切であったため、監督員が改善指示を行った。</p>	<p>■ 対外関係が不適切であったため、監督員が改善指示を行った。</p> <p>■ 対外関係が不適切であったため、監督員が改善指示を行った。</p>

工事成績採点の審査項目別運用表

(現場監督員)

審査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 出来形	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値の <input type="checkbox"/> 満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値の <input type="checkbox"/> 満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を ■ 満足し、a、bに該当しない。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。 <input type="checkbox"/>	契約書第17条に基づき、監督職員が改善請求を行った。 <input type="checkbox"/>
	総合	<ul style="list-style-type: none"> ● 測定に対応するシートを下記のシートの中から必ず選択（チェック）して、以降の該当シートを1つだけに記入すること。 ◎ 土木(農林等含) ○ 機械設備工事 ○ 電気設備工事、通信設備工事、受変電設備工事 				<ul style="list-style-type: none"> ● 選択したシート以外のシートをチェックしても■となるので注意
		<ul style="list-style-type: none"> ● 上記で選択されたシートが工事成績採点表に反映される。 				

工事成績採点の審査項目別運用表

審査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	1. 出来形	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値の満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値の満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	契約書第17条に基づき、監督員が改善請求を行った。
<p>ばらつきを判断し、a、b、cのいずれかをクリックする。</p> <p>本工事業の大きい工種を3工種まで選定する。</p>		<p>●ばらつきを判断は、別紙-4参照。</p> <p>① 出来形の測定は、工事全般を通じて測定するものとする。</p> <p>② 出来形とは、設計図書に示された工率目的物の形状及び寸法をいう。</p> <p>③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系であるが、当該管理基準によりがたい場合等については、監督員と協議の上で出来形管理を行うものである。</p> <p>④ 出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。</p> <p>●滴岩で複数選択した場合の工種名 舗装工事 コンクリート構造物工事 土工事(切土、盛土築堤)</p> <p>最大3工種の場合はクリック 1工種で評定を行う場合はここをクリック</p>				

←現場監督員等は押さないこと。

↑ ↑

※必ず上のチェックボタンで1工種か最大3工種かを選ぶ。
 「検査員品質関係不要シート削除ボタン」は、検査員が最終判断して押す。

工事成績採点の審査項目別運用表

(現場監督員)

審査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 総合	品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満たし、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。 <input type="checkbox"/>	品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値の概ね80%以内である。 <input type="checkbox"/>	品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満たし、a、bに該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示した。 <input type="checkbox"/>	契約書第17条に基づき、監督職員が改善請求を行った。 <input type="checkbox"/>
		●評定に対応するシートを下記のシートの中から必ず選択（チェック）して、以降の該当シートを1つだけに記入すること。 ○ 土木（農林等含） ○ 機械設備工事 ○ 電気設備工事、通信設備工事・受変電設備工事 ○ 維持・修繕工事 ● 港湾浚渫工事 ●上記で選択されたシートが工事成績採点表に反映される。				
		●土木（農林等含）以外は、ばらつき判定はなく、評価値のみで評定される。				

工事成績採点の審査項目別運用表

(現場監督員)

審査項目	細別	a	b	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ ばらつきを判断し、a、b、cのいずれかをチェックする。	II. 品質	品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。 ●ばらつきの判断は、別紙-4参照。 ① 品質の評価は、工事全般を通じて評価するものとする。 ② 品質とは、設計図書に示された工事項目的物の規格である。 ③ 品質管理とは、「土木工事施工管理体系」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、監督員と協議の上で品質管理を行うものである。 ④ 品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。	品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示した。	契約書第17条に基づき、監督職員が改善請求を行った。

工事成績採点の審査項目別運用表

(現場監督員)

審査項目	細別	a	b	c	d	e	
3. 出来及び出来ばえ	II. 品質 維持・修繕工事 0%	<input type="checkbox"/> 適切である。 「評価対象項目」 <input checked="" type="checkbox"/> 常に緊急的な作業に対応できる体制を整えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 緊急的な作業に対し、迅速に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対し、現地状況を勘案し、施工方法や構造について提案を行うなど、積極的に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っている。 <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由： <input type="checkbox"/> 理由：	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示した。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改善請求を行った。	
		●判断基準 ※該当項目が6項目以上以上・・・a ※該当項目が4項目以上以上・・・b ※該当項目が3項目以上以上・・・c		*記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大で、8項目とする。			

工事成績採点の審査項目別運用表

(現場監督員)

審査項目	細 別	a	b	c	d	e
3. 出来ばえ	I. 品質	<input type="checkbox"/> 適切である。	<input type="checkbox"/> ほぼ適切である。	<input checked="" type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	品質関係の判定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示した。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改善請求を行った。
港湾浚渫工事 ＊品質のばらつき評価はなし。 ＊評価値のみで評価する。		<p>【評価対象項目】</p> <p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 湧り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないよう十分検前して施工されている。 <input type="checkbox"/> 一般船舶に十分注意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 作業船（機械）が十分管理下におかれ、締束されていることが確認できる。 <p>【浚渫・床掘関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工している。 <input type="checkbox"/> 浚渫又は床掘工について仕機書に定められた施工上の注意事項が守られている。 <input type="checkbox"/> 土砂における土質改良が適切に行われて施工している。 <input type="checkbox"/> 土砂の含水比等に配慮し、土砂の処分、仮置を行っている。 <input type="checkbox"/> 浚渫又は床掘土砂に、かつ大物等が混入していた場合、適正に分別処理され施工している。 <input type="checkbox"/> 土砂仮置場における飛砂防止や排水を考慮した対策を講じて施工している。 <input type="checkbox"/> 必要以上に余泥を行わないなど、精度良く浚渫することで、土砂処分量の削減に努めた。 <p>●判断基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 評価値が90%以上.....a ② 評価値が80%以上90%未満.....b ③ 評価値が80%未満.....c ④ 評価値が80%未満.....c <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目を母数として計算した比率(%計算)の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目数以下の場合はc評価とする。</p>				

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(現場監督員)

●下記の該当項目をチェック

審査項目	細別	工 夫 事 項
5. 創業者	I. 創業者	【施工】 <input type="checkbox"/> 施工に伴う器具、工具、装置等に関する工夫又は設備据付後の試運転に関する工夫。 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品などの代用品の利用に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 土工、地盤改良、橋架設、舗装、コンクリート打設等の施工に関する工夫 <input type="checkbox"/> 原材料及び構材等の運搬及び貯蔵方式などの施工方法に関する工夫 <input type="checkbox"/> 設備工事における加工や組立等又は電気工事における配線や配管等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 給排水工事や衛生設備工事等における配管又はポンプ等の凍結防止、配管のつなぎ等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 照明などの境界の確保に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 仮排水、仮道路、迂回路等の計画的な施工に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 運搬車両・施工機械等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 交保工、型枠工、足場工及び仮設橋、覆工板、山留め等の仮設工に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 盛土の横面度、坑の施工高さ等の管理に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 施工計画書の作成、写真の管理者に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 出来形又は品質の計測、集計、管理図等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 施工管理ソフト、工量管理システム等の活用に関する工夫。 <input type="checkbox"/> ICT（情報通信技術）を活用した情報化施工を取り入れた工事。 <input type="checkbox"/> *本項目は2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> 特別な工法や材料を用いた工法。 <input type="checkbox"/> 優れた技術力又は能力として評価する技術を用いた工事。 【新技術活用】 <input type="checkbox"/> NET I S登録技術のうち試行技術を活用し、活用効果調査表を提出している。 <input type="checkbox"/> *本項目は2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> NET I S登録技術のうち試行技術が「少実績優良技術」である場合又は発注者による活用効果調査表を提出している。 <input type="checkbox"/> *本項目は4点の加点とする。 <input type="checkbox"/> NET I S評価情報技術のうち「少実績優良技術」を除く「有用とされる技術」を活用し、活用効果調査表を提出している。 <input type="checkbox"/> *本項目は4点の加点とする。 <input type="checkbox"/> NET I S登録技術のうち試行技術及び「有用とされる技術」以外の新技術を活用した結果、発注者による活用効果調査表の総合評価点が120点以上であった場合。 <input type="checkbox"/> *本項目は4点の加点とする。 【品質】 <input type="checkbox"/> 土工、設備、電気の品質向上に関する工夫。 <input type="checkbox"/> コンクリートの材料、打設、養生に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 鉄筋、PCケーブル、コンクリート二次製品等の使用材料に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 配筋・溶接作業等に関する工夫。 【安全衛生】 <input type="checkbox"/> 建設業労働災害防止協会が定める指針に基づく安全衛生教育を実施している。 ■建設防（冲縄支部）の安全衛生教育を受講して終了証書を監督職員に提出した場場合に評価する。 <input type="checkbox"/> *本項目は2点の加点とする。 <input type="checkbox"/> 安全を確保するための設備等に関する工夫（落下物、墜落・転落、立入禁止帯、看板、立入禁止帯、手摺り、足場等） <input type="checkbox"/> 安全教育、技術向上講習会、安全パトロール等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 現場事務所、労働者等の空間及び設備等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 有毒ガス及び可燃ガスの処理及び粉塵防止並びに作業中の換気等に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 一般労働者への教育訓練が従又は一般交通の安全確保に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 厳しい作業環境の改善に関する工夫。 <input type="checkbox"/> 環境保全に関する工夫。 【その他】【働き方改革】 <input type="checkbox"/> その他：他の規範となるような週休二日確保に向けた取組を評価している。 ■左記の取組とは、社員教育や情報共有方法などを実施した場場合に評価する。 <input type="checkbox"/> その他：担い手（若手や女性技術者）の確保に向けた取組が図られている。 ■若手や女性技術者の確保が確認され、社内（社員）教育の実施により技術向上が確認できる場場合に評価する。 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> その他 評価点：0点

* 1、特に評価すべき創業者事例を加点評価する。
 * 2、評価は各項目において1つし点が付けられる。1、2、4点で評価し、最大7点の加点評価とする。
 * 3、該当する数と重みを勘案して評定する。1項目1点を目安とするが、内容によってはそれ以上の点数を与えてもよい。
 * 4、上記の審査項目の他に評価に値する企業の工夫があれば、その他に具体的な内容を記載して加点する。なお、主任監督員が評価する「工事特性」との二重評価は行わない。

工事成績採点の審査項目別運用表

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	II. 工程管理 ■ 4週8休以上を確保できた場合は、原則 a 評価とする。ただし、他の事項で著しく低く評価する内容が確認された場合は「a 評価」としないことができる。 土技第801号平成30年9月25日付け通知文より	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> ●下記の該当項目を子エックしたうえで右欄にて総合評価を行うこと。概算する他の工事などとの工程管理に取組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> ①関連工事との工程管理に取組み、トラブル無く工期内に完成した場合に評価する。 <input type="checkbox"/> 地元及び関係機関との調整に取組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> ①地元調整等に取組み、トラブル無く工期内に完成した場合に評価する。 <input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行ったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。 <input type="checkbox"/> ①計画的な人員管理、工程管理を行い、休日や夜間の工事を回避した、若しくは地元調整を積極的にを行い、夜間工事など地元要望に配慮した工程管理を立て、トラブルなく工期内に完成した場合に評価する。 <input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取組みが見られた。 <input type="checkbox"/> ①現場確保による4週8休を確保し、かつ工期内に工事を完成させた場合に評価する。かつ、「その他」項目も評価する。 <input type="checkbox"/> 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> ①工期的な制約がある工事において、余裕を持った工程管理のもとに、これらの要請に即した場合に評価する。 <input type="checkbox"/> ★「余裕をもって工事を完成」の判断：工期の少なくとも7日前（従来の竣工確認）を目安とする。 <input type="checkbox"/> 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。 <input type="checkbox"/> ①広範囲に点在する補修工事や修繕工事等の時間ロスが多い工事で、余裕を持った工程管理を立て、適切な工程管理のもとに工期内に工事を完成させた場合に評価する。 <input type="checkbox"/> その他（連休2日の確保） 理由： 4週8休以上を確保できた場合に、(連休2日の確保)を「その他」に記載して評価(レ点)する。	<input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> ●下記の目安を参考として総合的に評価する。(必ず子エックすること) <input type="checkbox"/> a 4項目程度以上評価 <input type="checkbox"/> b 2項目程度以上評価 <input type="checkbox"/> c 1項目程度以上評価 <input type="checkbox"/> d 工程管理がやや不備である <input checked="" type="checkbox"/> e 工程管理が不備である	<input type="checkbox"/> 劣っている		

●判断基準
上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e 評価を行う。

工事成績採点の審査項目別運用表

(主任監督員)

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	Ⅲ. 安全対策	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 劣れている <p>●下記の該当項目をすべて右欄にて総合評価を行うこと。 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。 <input type="checkbox"/> ①安全施設の増設、高機能の安全施設の配置、交通誘導員の追加配置、特色ある安全教育の実施など労働災害の防止に向けた取り組みが顕著であった場合に評価する。 <input type="checkbox"/> ②安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> ③安全衛生管理を設け、責任体制を施工計画書に明記し、日常の教育、訓練、巡視、安全施設や仮設工の整備・点検を組織的に実施した。場合に評価する。 <input type="checkbox"/> ④安全衛生を確保するため、他の職種と異なるような活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> ⑤安全管理に關して、管内の他の建設業者の模範となっており、又は模範的な優れた活動を行っていることが、関係資料で確認できる場合に評価する。 <input type="checkbox"/> ⑥安全対策に関する技術開発や創業工夫に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> ⑦安全対策に関する技術開発や新技術の導入に積極的に取り組んだ、又は安全対策に関して創意工夫をもって取り組んだことが、関係資料で確認できる場合に評価する。 <input type="checkbox"/> ⑧安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> ⑨安全協議会を設けている場合：協議会活動の役員など活動の中心的な役割を担い、安全協議会を牽引するなど、協議会活動に積極的に取り組んだことが、関係資料で確認できる場合に評価する。 <input type="checkbox"/> ⑩安全対策に係る取り組みが地域から感謝された、又は好評であったことが関係資料で確認できる場合に評価する。 その他： 理由：</p>	<input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> やや劣っている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない <input type="checkbox"/> 安全対策がやや不備である	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 安全対策が不備である	<input type="checkbox"/> 劣っている (必ずチェックすること)

●判断基準
上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。

工事成績採点の調査項目別運用表

(主任監理員)

調査項目	工事特性	I 構造物の特長等への対応	II 構造物の特長等への対応	III 構造物の特長等への対応	IV 高層工事に伴う安全確保への対応
4. 工事特性	I 構造物の特長等への対応	<p>理由： * 上記の対応事項に1つ以上し点が付けば4点の加点とする。</p>	<p>理由： * 上記の対応事項に1つ以上し点が付けば6点の加点とする。</p>	<p>理由： * 上記の対応事項に1つ以上し点が付けば4点の加点とする。</p>	<p>理由： * 上記の対応事項に1つ以上し点が付けば6点の加点とする。</p>
【事例】具体的な施工条件等への対応事例	<p>(1, Eにおいて) 切土の工量：20万m³以上、盛土の工量：15万m³以上、掘削の平均高さ：10m以上、トンネル(φ-ド)の掘削：8m以上、ダム用水門の設計水深：2.5m以上、欄干又は橋脚の内空断面面積：15m²以上、橋脚基礎の吐出管径：2,000mm以上、堰又は水門の最大管径：2.5m以上、堰又は水門の管間敷：3径間以上、堰又は水門の管間敷：50m/径間以上、トンネル(鋼製工法)の鋼製工法：20m以上、トンネル(NATM)の内空平均面積：100m²以上、トンネル(吹埋工法)の内空平均面積：300m²以上、トンネルの設計水深：1.50m以上、地滑り防止：幅100m以上かつ長さ150m以上、砂防工の設計水深：100m以上、築堤工の計画高水：500m以上、築堤工の計画高水：500m以上、砂防ダムの高さ：150m以上、橋脚トンネルの設計水深：400m以上、橋脚下部工の高さ：30m以上、橋脚上部工の最大支間長：100m以上</p> <p>(2, Eにおいて) * 砂防工事において、現地合わせに基づいて設計が必要となる工事。 * 鉄道に隣接した構造物の設置工事又は河川内の流水部における構造物の撤去工事。 (3, Eにおいて) * 構造物の設置工事において、その地、構造物の形状が特殊な工事。 * その他、構造物の形状が特殊な工事。 (4, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (5, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (6, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (7, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (8, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (9, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (10, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (11, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (12, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (13, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (14, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (15, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。</p>	<p>(1, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (2, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (3, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (4, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (5, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (6, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (7, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (8, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (9, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (10, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (11, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (12, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (13, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (14, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (15, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。</p>	<p>(1, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (2, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (3, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (4, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (5, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (6, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (7, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (8, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (9, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (10, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (11, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (12, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (13, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (14, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (15, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。</p>	<p>(1, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (2, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (3, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (4, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (5, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (6, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (7, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (8, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (9, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (10, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (11, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (12, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (13, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (14, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (15, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。</p>	<p>(1, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (2, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (3, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (4, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (5, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (6, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (7, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (8, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (9, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (10, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (11, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (12, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (13, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (14, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。 (15, Eにおいて) * 構造物の形状が特殊な工事。 * 構造物の形状が特殊な工事。</p>

※1. 工事特性は、最大20点の加点項目とする。
 ※2. 主任監理員が採点する5. 特長等と、この二重採点は行わない。
 ※3. 評価にあたっては、専任監理員等の意見も参考に評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表

(主任監理員)

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c
6. 社会性等	I. 地域への貢献等	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 下記の該当項目を子エックしたうえで右欄にて総合評価を行うこと。 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。 <input type="checkbox"/> ①周辺環境や自然環境及び生物の保護等に対して具体的な取組みを実施したことが、関係資料で確認できる場合に評価する。(※設計図書で施行を明示しているものは除く。) <input type="checkbox"/> ②現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との調和に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。 <input type="checkbox"/> ③現場周辺の自然環境、景観、社会環境(通学路等)に合わせて、現場事務所や作業現場の白濁や子グライを調和させ、修繕したことが、関係書類等で確認できる場合に評価する。(※設計図書で施行を明示しているものは除く。) <input type="checkbox"/> ④定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 <input type="checkbox"/> ⑤当該工事現場において、広報活動、奨励見学会等の実施や、学園通学時の送迎など、地域とのコミュニケーションを積極的に図ったことが、関係資料で確認できる場合に評価する。 <input type="checkbox"/> ⑥当該工事において、その現場周辺地域の公共土木施設の清掃やゴミ拾いなどのボランティア活動に積極的に実施し、地域に貢献したことが、関係資料で確認できる場合に評価する。 <input type="checkbox"/> ⑦当該工事において、その地域が主催するイベント(地域の美化活動、夏祭り等)に積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図ったことが、関係資料で確認できる場合に評価する。 <input type="checkbox"/> ⑧当該工事において、その地域が主催するイベント(地域の美化活動、夏祭り等)に積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図ったことが、関係資料で確認できる場合に評価する。 <input type="checkbox"/> 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。 <input type="checkbox"/> ⑨当該工事の工期内に発生した自然災害等について、物質の援助、避難場所の開放、避難等の後方支援、救助等の活動をを行い、地域住民や行政に協力したことが、関係書類で確認できる場合に評価する。 <input type="checkbox"/> ゆいぐるむ材を積極的に使用している。(「ゆいぐるむ材利用状況報告書」により確認)※1、2 <input type="checkbox"/> ⑩ゆいぐるむ材の利用が可能な工事を対象とする。それ以外は評価対象としない。 <input type="checkbox"/> ⑪ゆいぐるむ材利用状況報告書が提出され、ゆいぐるむ材出荷証明書が添付されていることが確認できること。 (※接査官の評価対象である路盤材等は対象で無いので注意すること。) その他理由：	<input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている <input type="checkbox"/> cより以上評価	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	
		<input type="checkbox"/> ● 下記の目安を参考として総合的に評価する。(必ず子エックすること) <input type="checkbox"/> a 5項目以上評価 <input type="checkbox"/> a' 4項目評価 <input type="checkbox"/> b 3項目評価 <input type="checkbox"/> b' 2項目評価 <input checked="" type="checkbox"/> c 1項目以下評価				

※1：ただし、下記A)およびB)に該当する製品は評価の対象外とする。
 A) 特定建設資材廃棄物を原材料とした製品(路盤材、As舗装材、再生砂等)
 B) 「特定建設資材使用状況報告書」で報告している資材(鉄筋、セメント、マンホール蓋等)
 ※2：ゆいぐるむ材を「使用可能な箇所」で全量使用した場合に評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表

法令遵守等の該当項目一覧表

審査項目	措置内容	措置点数	総合点数
8. 法令遵守等	<p>1. 指名停止3ヶ月以上</p> <p>2. 指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満</p> <p>3. 指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満</p> <p>4. 指名停止2週間以上1ヶ月未満</p> <p>5. 文書注意相当</p> <p>6. 口頭注意相当</p> <p>7. 工事関係者または公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合</p> <p>8. その他※総合評価格付方式の1)～3)に該当する場合、チェックすること。</p> <p>9. 該当項目なし</p>	<p>-20点</p> <p>-15点</p> <p>-13点</p> <p>-10点</p> <p>-8点</p> <p>-5点</p> <p>-3点</p>	<p>○</p>
<p>【必須項目】 措置内容1～9から1項目を選択する。</p>	<p>●8. その他で総合評価格付方式での減点は、下記により評価する。VE提案がある場合は有無をチェックすること。(8. その他をチェックしただら必ず下段もチェックすること。)</p> <p>※減点に際しては、「総合評価の運用(案)」を参照すること。</p> <p>1) 企業の能力等に関すること</p> <p>不履行の場合は、各評価項目の減点数を合算し、右のセルに直接入力すること。</p> <p>2) 施工計画に関すること</p> <p>不履行の場合は「不履行の項目数×(-3点)」として減点数を合算し、右のセルに直接入力すること。</p> <p>3) 技術提案(VE提案)に関すること</p> <p>VE提案の有無のチェック→ <input type="checkbox"/></p> <p>不履行の場合は、最高10点とし、減点を右のセルに直接入力する。</p>	<p>減点</p> <p>○点</p>	<p>○</p>
<p>① 本評価項目(8.法令遵守等)で評価する事例は、工事の施工にあたって工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。</p> <p>② 「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。</p> <p>③ 「工事関係者」とは、当該工事現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、請負会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、それを履行するために従事する者に限定する。</p> <p>④ 総合評価格付方式における技術資料の記載内容(施工計画)及び技術提案が、受注者の責により履行されなかった場合は、8. その他の項目で減する措置を行う。</p>	<p>【上記で評価する場合は適応事例】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入札前に提出した調査資料などにおいて、虚偽の事実が判明した。 2. 承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。 3. 使用人に関する労働条件に問題があり送検された。 4. 産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。 5. 当該工事関係者が濫取漏などにより速報又は告訴された。 6. 一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。 7. 入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。 8. 労働基準法に違反する事実が判明し、送検された。 9. 監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。 10. 下請代金を期日以内に支払っていない、違損又は送検された。 11. 過積載等の道路交通法違反により、違損又は送検された。 12. 受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業会員の暴力団関係者がいることが判明した。 13. 下請けに暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動車用機器の設置等を行っていている事実が判明した。 14. 安全管理の措置が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。 		

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	1. 施工管理 【現場監督員】関連	<p>【評価対象項目】</p> <p>□ 優れている</p> <p>□ やや優れている</p> <p>□ 他の評価に該当しない</p> <p>□ 劣っている</p>	<p>□ やや劣っている</p> <p>□ 劣っている</p>	<p>□ やや劣っている</p> <p>□ 劣っている</p>	<p>□ やや劣っている</p> <p>□ 劣っている</p>	<p>□ やや劣っている</p> <p>□ 劣っている</p>
		<p>契約書第18条第1項第1号～5号に基づき設計図書の内容を照査できる。【必須】</p> <p>①着工前測量の結果を監督職員に提出したことが確認できる。</p> <p>②着工前、工事中において照査を実施し、相違箇所について着手前にその結果を監督員に書面で提出して照査を実施したことが確認できる。</p> <p>③報告書に、照査内容の区分け（第1号～第5号）が記載されていることが確認できる。</p> <p>④事前測量結果を提出していない、又は照査結果を報告、協議していない場合は評価しない。</p> <p>★ 対象となる確認項目が全て満足している場合に評価すること。以下の出来形管理及び品質管理も同様である。</p>	<p>■ 他の評価に該当しない</p>	<p>□ 施工管理について、監督職員が文書による改善指示を行った。</p> <p>□ 監督職員が文書による改善指示を行った。</p>	<p>□ 施工管理について、監督職員が文書による改善指示を行った。</p> <p>□ 監督職員が文書による改善指示を行った。</p>	<p>□ 施工管理について、監督職員が文書による改善指示を行った。</p> <p>□ 監督職員が文書による改善指示を行った。</p>
	【現場監督員】関連	<p>施工計画書が工事着手前に提出され、所定の項目が記載されているとともに、設計図書の内容及び現場条件を反映したものであることが確認できる。【必須】</p> <p>①特別な場合（特記仕様書）を除いて、工事開始日から最低30日（準備期間）を確保して工事着手している。</p> <p>②施工計画書を工事着手前に提出していることが確認できる。</p> <p>③共通仕様書に漏れられた項目を不足なく記載していること。</p> <p>④施工計画書の内容が設計図書及び現場条件と整合していること。</p>				
	【現場監督員】関連	<p>工事期間を通じて、施工計画書の内容と現場施工方法が一致していることが確認できる。【必須】</p> <p>①現場の施工方法が、施工計画書と一致して実施されていること。</p>				
	【現場監督員】関連	<p>現場条件又は計画内容に変更が生じた場合は、その都度当該工事着手前に変更計画書を提出していることが確認できる。</p> <p>①変更施工計画書の提出が必要な工事を対象。</p> <p>②変更施工計画書を提出していない、又は当該変更箇所の工事の着手後に提出した場合には評価しない。</p>				
	【現場監督員】関連	<p>工事材料の品質に影響が無いよう工事材料を保管していることが確認できる。</p> <p>①保管方法が品質に影響を与えない工事を対象。</p> <p>②現場での工事材料の保管が弊害が生じた場合、その材料の特質に即して品質低下が無いように適切に保管（養生）していることが確認できること。</p>				
	【現場監督員】関連	<p>立会確認の手続きを事前にしていることが確認できる。【必須】</p> <p>①段階確認や不可視部分の確認などの立会確認依頼を余裕をもって行っていること。</p> <p>②段階確認、不可視部分、設計図書と現場の不一致部分等の立会依頼を行わず施工した場合、依頼が余裕をもって行われていない場合は、評価しない。</p> <p>★「余裕をもって」は、少なくとも立会日希望日の3日前を目安とする。</p>				
	【現場監督員】関連	<p>建設副産物の再利用等への取り組みを行っていることが確認できる。</p> <p>①建設副産物の再利用、再資源化施設への搬出、産業廃棄物の処分が必要な工事を対象。</p> <p>②再生資源利用（促進）計画書及び再生資源利用実施（促進）計画書を作成し、再生資源の利用に取組んでいること。</p> <p>③マネーフエードにより、再資源化施設や最終処分場の処分及び処分量が確認できること。</p> <p>④写真等で処分場状況を確認できること。</p>				
	【現場監督員】関連	<p>リサイクルへの取り組みが適切になされている。（ゆいぐるみの材の原則使用）※1</p> <p>①ゆいぐるみの材の利用が可能な工事を対象とする。</p> <p>②ゆいぐるみの材利用状況報告書が提出され、ゆいぐるみの材出荷証明書が添付されていることが確認できること。</p>				
	【現場監督員】関連	<p>施工体制台帳及び施工体系図を法令等に沿った内容で適確に整備していることが確認できる。</p> <p>①下請けが適確な工事を対象とする。</p> <p>②施工体制台帳に二次下請け、二次下請けなど工事施工を請け負う全ての業者について、業者名、施工範囲、技術者名、関係の加入状況など、必要な事項を記載していることが確認できること。</p> <p>③施工体制台帳の写しを監督員に提出し、現場に備え付けていること。</p> <p>④施工体制台帳に基づき、施工体系図を作成し、特定建設業者の名称と技術者名、下請人の名称、工事内容、工期、技術者名などを表示し、各下請人の施工区分が確認できること。</p> <p>⑤施工体系図の写しを監督員に提出し、現場の工事関係者が見やすい場所に掲示していること。</p> <p>⑥、工事写真等の関係資料で確認できること。</p> <p>⑦施工体制台帳、施工体系図に変更が生じた場合は、その都度速やかに監督職員にその写しを提出していること。</p>				

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	b	c	d	e
2. 施工状況	1. 施工管理	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> 検査を面で実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 下請けに対する引き取り(完成)検査を面で実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①下請契約書に引取(完成)検査引き渡し及び代金の支払いの条項が確認できる。 <input type="checkbox"/> ②下請けからの完成通知が確認できる。 <input type="checkbox"/> ③下請けへの検査結果(台否)の通知が確認できる。 <input type="checkbox"/> ④下請けからの工事目的物の引き渡し書が確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤下請けへの支払い(部分払いなど)が確認できる。	<input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> 検査を面で実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①下請契約書に引取(完成)検査引き渡し及び代金の支払いの条項が確認できる。 <input type="checkbox"/> ②下請けからの完成通知が確認できる。 <input type="checkbox"/> ③下請けへの検査結果(台否)の通知が確認できる。 <input type="checkbox"/> ④下請けからの工事目的物の引き渡し書が確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤下請けへの支払い(部分払いなど)が確認できる。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない <input type="checkbox"/> 品質保証体制が確立され、品質証明員による関係書類、出来形、品質等の確認を工事全般にわたって行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①品質向上のため品質証明員を定め、工事着手から完成までの工事全般にわたって関与し、組織的に品質の向上に努めたことが確認できること。 <input type="checkbox"/> ②品質証明員を選任していない場合、品質証明員の業務が完成検査前のごく一部に限られており品質向上に寄与したと認めがたい場合は、評価しない。 <input type="checkbox"/> 工事の関係書類を不足なく順次に整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①工事関係書類(指示・承諾・協議書、出来形管理、品質管理、安全管理、工事写真、その他の関連書類)を不足なく、かつ、ポイントを押さえて順次に整理している場合に評価する。 <input type="checkbox"/> ②書類の不備、不足、書類やデータが整理されていない場合は、評価しない。 <input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。【必須】 <input type="checkbox"/> ①社内管理基準を定めていない、単に社内管理基準を定めただけのものは、評価しない。 (施工計画書(施工管理計画)に社内管理基準について以下の記載があること) <input type="checkbox"/> ②出来形管理・品質管理において社内管理基準を設定し、社内管理基準内に抑えるための工夫(体制や目標などマネジメント) <input type="checkbox"/> ③出来形管理・品質管理において、社内管理基準内を超過した場合の対応措置 <input type="checkbox"/> ④工程管理において、計画工程との「遅れ許容値」など社内管理基準を設定し、工程に遅れが生じた場合の対応措置など	<input type="checkbox"/> やや劣っている <input type="checkbox"/> 劣っている	
		●評価基準 評価値が90%以上.....a 評価値が80%以上90%未満.....b 評価値が80%未満.....c	①当該対象項目のうち、評価対象外の項目は削除する。 ② 削除項目のある場合は削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%の値で評価する。 ③ 評価値(%)=該当項目数() / 評価対象項目数() ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。			

※1：特定建設資材廃棄物を原材料とした製品（路盤材、As舗装材、再生砂等）を対象とする。

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び 出来ばえ	I. 出来形	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づいて行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の $\leq 80\%$ 程度以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づいて行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の $\leq 80\%$ 程度以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づいて行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の $\leq 80\%$ 程度以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づいて行われており、測定値が規格値を満足し、a~bに該当しない。	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/>	出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が補指示を行った。 <input type="checkbox"/>	
	総合	<ul style="list-style-type: none"> ● 評定に該当するシートを下記のシートの中から該当シート(チェック)して、以降の該当シートを1つだけ記入すること。 ◎ 土木(農林等含) ○ 機械設備工事 ○ 電気工事 						<ul style="list-style-type: none"> ● 選択したシート以外のシートをチェックしても■となるので注意
		● 上記で選択されたシートが工事成績採点表に反映される。						

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ 品質総合評価	II. 品質 ●土木、建築工事共通 ●どちらかを選択	品質関係の経験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		<ul style="list-style-type: none"> 最大3工種にて評価選択した審査項目運用表 工種名 コンクリート・構造物工事 土工事(切土、盛土・築堤) 主たる1工種だけで評価 	<ul style="list-style-type: none"> 評価項目のうちチェックをした数 評価の対象項目とした数 ●該当しないシートは評価しないこと。該当する審査項目運用表を下欄から必ず選択。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価項目のうちチェックをした数 評価の対象項目とした数 ●該当しないシートは評価しないこと。該当する審査項目運用表を下欄から必ず選択。 	<ul style="list-style-type: none"> 項目別の評価内容と違う場合は口をチェックすればその評価ランクで点数が入力される。 	<ul style="list-style-type: none"> ●下欄で選択したシート以外のシートをチェックしても■とはならない。 		
III. 出来ばえ		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> a.優れている	<input type="checkbox"/> b.やや優れている	<input type="checkbox"/> c.他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> d.劣っている		
		最大3工種にて評価 ※1項目しか工種を選択していないことも事で評価するので注意						
		主たる1工種だけで評価						

●審査項目運用表を下記から必ず選択しチェックすること。(チェックしないと工事成績採点表に反映されない。)

- コンクリート構造物工事
- 法面工事
- 橋脚工事
- 舗装工事
- 空港舗装工事
- 港湾築港工事
- 維持工事
- 修繕工事
- 構築物工事(土木)
- 電気設備照明設備その他類似工事
- 建築工事(土木関連)
- 植栽工事
- 塗装工事
- 区画線等設置工事
- 初防構造物工事
- 海岸工事
- トンネル工事

- 土工事(切土、盛土・築堤)
- 空港用地造成工事
- 護岸・根固・水利工事
- 地盤の防止工事(集水井戸含)
- 基礎工事(地盤改良含)
- コンクリート構工事(P,G,R,C)
- 防護構工事(網)
- 通信設備受変電設備その他類似工事
- 二次製品構造物
- 補強土盛工事
- 取壊し工事

- 共同溝シールド工事
- 上下水道工事
- 管水渠工事
- 電線共同溝工事
- 仮設工事
- フィルダム・ため池工事
- 備工、防工、伏工事
- 主工事(区画整理、農地造成)
- 電気通信設備(森林事業)
- 施設機械設備(用排水ポンプ・構成付属設備)
- 施設機械設備(除塵設備・構成付属設備)
- 水管構
- 林道土工工事
- 木材木製品工事
- 浮橋整備工(整地工事、暗渠排水工)

●判断基準

評価値	ばらつきで判断可能		ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきでの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行った。
	コンクリート 構造物工事	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> ①打設計画書を作成し、打設時の気温・コンクリート温度管理計画、投入高さ、気温に適した打込み・打込み時間、型枠・支保工の取外し時期が明記されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②配合試験の結果(配合試験を省略できる場合は配合計画書で)、強度、単位セメント量、単位結合材量、単位水量、W/C (又はW/FB)、最大骨材粒径、塩化物総量、アルカリ骨材反応抑制等が確認でき、適切なコンクリートの品質を確保していること。 <input type="checkbox"/> ③配合試験が必要な工事で配合試験を実施していない場合は評価しない。 ★ただし、他の公共工事で使用実績があり、かつ品質管理データがある場合→他工事の配合表はOK(配合試験は不要) ★特記検査で配合試験を指定したものの膨張剤使用のコンクリート→配合試験は必須 <input type="checkbox"/> ④土木コンクリート構造物の耐久性を向上させるため、一般の環境条件の場合のコンクリート構造物に使用するコンクリートの水セメント比は、ア) 鉄筋コンクリートについては55%以下、イ) 無筋コンクリートについては60%以下、コンクリート中の塩化物総量が許容塩化物量は、0.30kg/ml以下となることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤100年耐久性を確保するための重要なコンクリート構造物(橋梁・擁壁・図渠等)の呼び強度30MPaに使用する鉄筋コンクリートの水セメント比は、50%以下、コンクリート中の塩化物総量が許容塩化物量は、0.30kg/ml以下となることが確認できる。	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行った。
		<input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施してあり、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> ①コンクリートの品質を確認するための検査をJIS A5308(シディミクストコンクリート)により実施しているか、生産者等に検査のための試験を代行させる場合は、その試験に臨場していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②レディミクストコンクリートの受け入れ検査は、以下の項目について行われ、規格値等を満足していることが確認できる。 【塩化物総量】：0.30kg/ml以下 【単位水量測定】：ア) 配合設計±15kg/ml イ) 配合設計±15kg/mlを超え±20kg/mlの範囲にある場合は、水量変動の原因を調査し、製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンに1回単位水量の測定を行う。 運搬車3台ごとに1回単位水量の測定を行う。 ウ) ±20kg/ml指示値を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らす。 【スランプ試験】 SL5cm以上8cm未満：許容差±1.5cm SL8cm以上18cm以下：許容差±2.5cm (コンクリート類) SL2.5cm：許容差±1.0cm 【圧縮強度試験】 1回の試験結果は指定した呼び強度の85%以上であること。 3回の試験結果の平均値は、指定した呼び強度以上であること。 【空気量測定】 ±1.5% (許容差)	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行った。
		<input type="checkbox"/> ③【暑中コンクリート】 日平均温度が25℃を超えることが予想される場合は、暑中コンクリートとしての施工を行っている。また、コンクリートの材料の温度を、品質が確保できる範囲内で使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④強度試験用の供試体の作成及び養生養生の状況が確認できること。 <input type="checkbox"/> ⑤濃影角度、方向、焦点が不適切で目盛が読み取れないものは、評価しない。 ★単位水量の測定：以下の場合は必須 ア) 1日当たり打設量：100m ³ 以上 イ) 重要構造物(擁壁(H5m以上、BOXカルバート(内径25m以上)、橋梁、トンネル、ダム、堰・水門など)	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行った。
		<input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①アジテータから試料を採取し供試体を作成したことが現場を背景とした写真で確認でき、圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体の「1トレサビリティエー(追跡)」が確認できること。 <input type="checkbox"/> ②写真から現場で作成したことが確認できない場合は、評価しない。	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行った。
		<input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(暑中コンクリート等を含む)	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行った。
		<input type="checkbox"/> ①凍結せいで打ち終わるまでの時間は、原則として外気温が25℃を超える場合は1.5時間、25℃以下の場合では2時間を超えないこと、かつ運搬時間(凍結せいで下ろすまで)は1.5時間以内であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②コンクリートの打込みを日平均気温が4℃を超え、25℃以下の範囲に予想される時に実施したことが確認できる。(この範囲にない場合は暑中コンクリートの規定による) <input type="checkbox"/> ③コンクリートの打設作業に際しては、あらかじめ打設計画書を作成し、適切な高さに設定しこれに基づき、打設作業をしたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④1回の打設で完了するような小規模構造を除いて1回(1日)のコンクリート打設高さ(吐出口から打ち込み面までの高さ1.5m以下、型枠が高い場合ポンプ配管、漏斗管、ボケット等を)を施工計画書に明記したことが確認できる。	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行った。

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 <input checked="" type="checkbox"/> 判断基準参照	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
		<input type="checkbox"/> ⑤同一区画内のコンクリートの一層を打設が完了するまで連続して打ち込んでいくこと。 <input type="checkbox"/> ⑥コンクリート表面が一区画内で水平となるように打設する。なお、締め固め能力等を考慮して、コンクリート打設の高さ（1層の高さ40～50cm以下）の確認ができる。 <input type="checkbox"/> ⑦コンクリートを2層以上に分けて打設する場合、上層のコンクリートの打ち込みは、下層のコンクリートが固まり始める前に行い、上層と下層が一体となる（許容打ち重ね時間間隔：25℃を超える場合2時間、25℃以下の場合2.5時間以内）ように打設したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧打ち中の表面にブリーディング水がある場合は、除去してから打ち込んでいること。 <input type="checkbox"/> ⑨壁・柱のような幅に比べ高さが高いコンクリートを連続して打ち込む場合、打ち込み及び締め固めの際、ブリーディングの影響を少なくするように、コンクリートの1回の打ち込み高さ・打ち込み速度を調整（30分につき1～1.5m程度）していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ジャンカ、コールドジョイント等の初期不良箇所がある場合は、適正な施工とは認められないため、評価しない。 <input type="checkbox"/> 【暑中コンクリート】 <input type="checkbox"/> ⑪気温25度以上の場合、暑中コンクリートとして施工していること。 <input type="checkbox"/> ⑫減水剤、A.E.減水剤、流動化剤等を使用する場合は、必要に応じて遅延型を使用していること。 <input type="checkbox"/> ⑬打設前の地盤・型枠への吸水、型枠・鉄筋への吸水や日よけを必要に応じて実施し、打設時のコンクリート温度は35℃以下としていること。 <input type="checkbox"/> 【マスコンクリート】 <input type="checkbox"/> ⑭事前に、水和熱による温度応力及び「温度ひび割れ」に対する十分な検討を行っていること。 <input type="checkbox"/> ⑮「温度ひび割れ」に関する検討結果に基づき、打ち込み区画の大きさ、リフト高さ、継目の位置及び構造、打ち込み時間間隔を設定していること。 <input type="checkbox"/> ⑯あらかじめ計画した温度を超えて打ち込みを行っていないこと。						
		<input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①型枠及び支保工の取り外しの時期及び順序について、設計図書に定められていない場合には、構造物と同じような状態で養生した供試体の圧縮強度をともに、セメントの性質、コンクリートの配合、構造物の種類とその重要性、部材の種類及び大きさ、部材の受ける荷重、気温、天候を考慮して、取り外しの時期及び順序の計画を、施工計画書に記載していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②型枠・支保工の取り外し前に、構造物と同じ状態で養生したコンクリート供試体の圧縮強度を確認し、取外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③コンクリートがその自重及び施工中に加わる荷重を受けるのに必要な強度に達するまで、型枠・支保工を取外していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④型枠の組立に使用した締め付材及び壁つなぎの穴を、本体コンクリートと同等以上の品質を有するモルタル等で補修していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤マスコンクリートの場合は、温度ひび割れ制御のため、型枠置期間を考慮していること。						
		<input type="checkbox"/> コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①打継ぎ目は設計書の定めた位置に設けること。設計書と異なる場合は、監督員との協議を経てせん断力の小さい位置に打継ぎ目を設けていること。 <input type="checkbox"/> ②打継ぎ目は、圧縮力の作用する方向と直角となるように設けていること。 <input type="checkbox"/> ③やむを得ず、せん断力の大きな箇所（打継ぎ面）を設ける場合は、ほぞ、溝、鋼材を配置し、補強していること。 <input type="checkbox"/> ④硬化したコンクリートに打ち込む場合は、硬化したコンクリート表面のレイタンス、緩んだ骨材粒等を取り除き、給水させていること。 <input type="checkbox"/> ⑤早期間接したコンクリートに打継ぐ場合は、ワイヤブラシで表面を削るか、チップングをした後、吸水させ、セメントペースト、モルタル、潤滑剤（ボキボキ樹脂等）を塗ったあと、打ち継いでいること。 <input type="checkbox"/> ⑥打継ぎ目のひび割れ、漏水、エフロレシンス（白華現象）等が認められる場合は評価しない。						
		<input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> ①ミルシート、品質証明書等が品質及び数量が確認でき、工事写真でローママークが確認できること。						
		<input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①鉄筋の組立て前及び組み立てからコンクリートを打ち込むまでに、鉄筋位置のずれ、どろや油等の付着がないか点検し、清掃した後、打設していること。						
		<input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①施工前に、配筋図、鉄筋組立図、及びかぶり詳細図により組立て可能かつ配筋図及び組立筋を考慮したかぶりになっているかを照査し、不備を発見したときは監督職員にその事実が確認できる資料を書面により提出していることが確認できる。						

工事成績採点の調査項目の別運用表

(検査員)

調査項目	細別	a	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	品質 II. 出来ばえ	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
	土工事 (切土、盛土、築堤等工事)	<p>「評価対象項目」</p> <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①仮排水路や盛土表面の横断勾配、土翼等による雨水の誘導などの雨水対策を実施していること。 <input type="checkbox"/> 成切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①1:4以上の急な勾配を有する地盤上に盛土をする場合は、幅1.0m以上、高さ0.5m以上の段切りを行っていること。 <input type="checkbox"/> 覆換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①地盤改良(覆換え)にあたって、掘削面以下を乱さないよう丁寧に施工していること。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①築堤盛土の開始にあたって、盛土の1層の仕上がり厚さの1/2の厚さまで盛り返してほぐし、盛土材料とともに締固め、地盤と盛土の一体性を確保していること。 <input type="checkbox"/> ②築堤盛土材料に石が混入する場合は、石が一箇所に集中しないようにしていること。 <input type="checkbox"/> ③路体盛土の主材料が岩塊・玉石の場合は、空隙を細かい材料で充填していること。やむを得ず30cm程度のものを使用する場合は、路体の最下層に使用していること。 <input type="checkbox"/> ④路床盛土材の最大寸法は10cm程度であること。 <input type="checkbox"/> ⑤締め固めにあたっては、最適含水比付近で施工していること。 <input type="checkbox"/> ⑥締め固めのまま出し厚を管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①築堤にあたっては、一層の仕上がり厚を30cm以下とし、平坦に締め固めていること。 <input type="checkbox"/> ②路体盛土にあたっては、一層の仕上がり厚を30cm以下とし、各層ごとに締め固めていること。	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		<input type="checkbox"/> 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①強芝、筋芝、人工強芝の場合は、法肩に沿って天端に幅10~15cm程度の耳芝(法肩の崩れを防ぐために、法肩に沿って天端に幅10~15cm程度に強芝)を立てて入れていること。 <input type="checkbox"/> ②強芝に2~3本/枚の芝串で固定し、湿気のある目土を散布し土羽打等に打ち固めていること。 <input type="checkbox"/> ③種子散布は、乾燥時期の施工を避け、やむを得ず乾燥時期に施工した場合は継続して散水養生していること。 <input type="checkbox"/> ④種子散布は、吹付け面が乾燥している場合は、吹きつけ前に散水していること。 <input type="checkbox"/> ⑤種子散布の配合、肥料等の品質規格を満足し、均等な厚さで施工されていること。 <input type="checkbox"/> 構造物周辺の締固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①構造物の隣接箇所や狭小箇所の締固めを、タンバ、振動ローラ等の小型機械で施工していること。 <input type="checkbox"/> ②構造物の構造物がある場合、過重な偏土圧がかからないように盛土し、締め固めていること。 <input type="checkbox"/> 土質の土質が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①芝付けにあたっては、芝の育成に適した土を使用している。 <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①施工管理基準に従い試験を行っていることが確認でき、品質規格を満足していること。 <input type="checkbox"/> 法面に有害な亀裂がない。 <input type="checkbox"/> ①斜面上のかり侵食や、法肩及び斜面に亀裂がないこと。 <input type="checkbox"/> 找網徐根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①設計書の定めにより実施している。又は、設計図書の定めがない場合、共通仕様書に従い施工がされている場合に評価する。	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		その他 : 理由 ※ 品質のばらつき度 ○ ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。 ○ ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。 ○ ばらつきが規格値の概ね80%を超える。 ● ばらつきで判断不可能					
		●判断基準 評価値 90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満					
		50%以下 80%以下80%を超える					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a' b b' c c'					
		a a'					

Ⅲ. 出来ばえ 護岸・根固・ 水制工事	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 材料のすみ合わせがよく、クラックが無い。 <input type="checkbox"/> 天端及び端部仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。	●判断基準 該当4項目以上・・・a 該当3項目・・・b 該当2項目・・・c 該当1項目以下・・・d
---------------------------	--	---	---

工事成績採点の審査項目別運用表

審査項目	細 別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	□ 同左	□ 同左	□ 同左	■ 同左	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
	鋼構工事 (RC床版工事は コンクリート構造物 に準ずる)	<p>【評価対象項目】 【工場製作関係】</p> <p>鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。</p> <p>□ ①鋼材のJISマークの表示が欠陥及びミルシート等により品質を確認できること。</p> <p>□ ②溶接作業にあたり、作業員の技能確認を行っていることが確認できる。</p> <p>□ ③溶接圧接の技量を溶接技能資格証で確認できること。</p> <p>□ ④溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書仕様を満足していることが確認できる。</p> <p>□ ⑤強度、じん性、耐候性鋼材など、鋼材の種類や性質に応じた溶接材料を使用していること。</p> <p>□ ⑥溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。</p> <p>□ ⑦施工計画書に溶接施工方法を記載しており、実際の施工方法と一致していること。</p> <p>□ ⑧孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、まめ細やかに製作していることが確認できる。</p> <p>□ ⑨ボルト穴のバリ、まくれ等がないことが写真等で確認できること。</p> <p>□ ⑩欠陥部の発生が見られないことが確認できる。</p> <p>□ ⑪塗装作業に当たり、塗装面十分に乾燥させて施工していることが確認できる。</p> <p>□ ⑫鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油等を除去し、乾燥したのち施工していること。</p> <p>□ ⑬素地調整を行う場合、第1種クレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。</p> <p>□ ⑭①塗装管理記録から確認できること。</p> <p>□ ⑮塗料の空き缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。</p> <p>□ ⑯①塗装管理記録から確認できること。</p> <p>★塗料の「トレイザビリティ」が確認できること(塗料缶のロットNOが整合している)。</p> <p>□ ⑰塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色影、数量が確認できる。</p> <p>□ ⑱①塗装管理記録から確認できること。</p>						
		<p>【架設関係】</p> <p>□ ①ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。</p> <p>□ ②トルク法による場合は、各ボルト群の10%のボルト本数を標準としてトルクレンチにより締付確認を行っていること。</p> <p>□ ③トルシア型高力ボルトの場合は、全数につきピンテールの確認とマーキングによる外観確認を行っていること。</p> <p>□ ④回転法及び動力点法による場合は、全数につきマーキングによる外観確認を行っていること。</p> <p>□ ⑤ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</p> <p>□ ⑥ボルト締付機、測力器などの検定を現地施工に先立ち、現地搬入直前に1回、搬入後はトルクレンチは1ヶ月ごとに、その他の機器は3ヶ月ごとに点検を行っていること。</p> <p>□ ⑦高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行って行っていることが確認できる。</p> <p>□ ⑧①連接板の締め付けにあたっては、HTBを連接板の中央のボルトから順次端部に向かって締付け、2度締めを行っていること。</p> <p>□ ⑨予備締め後は、締め忘れや共回り確認のため、ボルト、ナット及び座金にマーキングを行っていること。</p> <p>□ ⑩高力ボルトの品質が、証明書等で確認できる。</p> <p>□ ⑪支承の据付で、コンクリート面のチップング及び仕上げ面に水勾配がつかないことが確認できる。</p> <p>□ ⑫①座金コンクリートの施工にあたって打継処理をしており、またコンクリート面に水勾配を付け、漏水がないこと。</p>						

別紙-3-3-②③-6 工事成績採点の調査項目別運用表

(検査員)

調査項目	細別	a	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 砂防構造物工事及び 地滑り防止工事	品質関係の試験結果はららつきと評価対象項目の順に採点(評価)から判断する。 <判断基準表参照>	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指摘を行い改善された。
		<p>【評価対象項目】</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験結果を踏まえて、コンクリートの品質(強度・w/o、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①配合試験の結果(配合試験を省略できる場合は配合計画書で)、強度、単位セメント量、単位骨材量、単位水、W/C (又はW/B)、最大骨材粒径、塩化物総量、アルカリ骨材反応抑制等が確認でき、適切なコンクリートの品質を確保していることが確認できること。</p> <p><input type="checkbox"/> ②配合試験が必要な工事で配合試験を実施していない場合は、評価しない。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、w/o、空気量等の測定結果が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①受入検査を実施しており、温度、w/o、空気量等が適正である。</p> <p><input type="checkbox"/> ②強度試験用の供試体の作成及び養生の状況が確認できること。</p> <p><input type="checkbox"/> ③成形角度、方向、焦点が不適切で目録が読み取れないものは、評価しない。</p> <p><input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①オランダから試料を採取し供試体を作成したことが現場を背景とした写真で確認でき、圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体の「トレーサビリティ(追跡)」が確認できること。</p> <p><input type="checkbox"/> ②写真などから現場で作成したことが確認できない場合は、評価しない。</p> <p><input type="checkbox"/> 連続強打、打設時の投入高さ、締固めのバイブレータの種類及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。(中及び下層コンクリート等を含む)</p> <p>★コンクリート構造物(工事)を参照</p> <p><input type="checkbox"/> ①表面水の処理が完了するまで、打ち込み直後はシート等で日よけや風よけを掛けていること(必要に応じて)</p> <p><input type="checkbox"/> ②表面を汚さないで作業を行うこと。状態良く仕上げた後は、養生マットや濡らした布等で覆うが、雨水、漏水していること。</p> <p><input type="checkbox"/> ③養生板(型枠)が乾燥する恐れがある場合は、湿き板(型枠)にも敷水していること。</p> <p><input type="checkbox"/> ④養生期間を満足し、常に湿潤状態を保つていること。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤湿度制御養生、蒸気養生、その他の促進養生方法を行う場合は、施工計画書に養生方法を記載していること。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑥養生養生を行う場合は、監督員と協議していること。</p> <p>【ダムコンクリート】</p> <p><input type="checkbox"/> ①ダムのコンクリート打込み時、岩盤のゆるんだ岩、岩層、その他の異物を除去し、漏水がある場合はコーキングによる止水やバリアの立て込み等により適切に漏水の排除をしていること。</p> <p><input type="checkbox"/> ②ダムコンクリート上に新しくコンクリートを打継ぐ場合：コンクリートが完全に硬化する前に圧力水や電動ブラジ等で除去(グリーンカット)していること</p> <p>★打継目表面のチップは骨材を含まない状態で清掃すること。</p> <p><input type="checkbox"/> ③ダムコンクリートと岩盤、新旧コンクリートの打継目：コンクリートの品質を揃えない配合のモルタルを敷き込んでおくこと。</p> <p>モルタルの水セメント比：コンクリートと同じが、それより小さなものであること。</p> <p>★モルタルの厚さ：岩盤面で2.0cm程度、水平打継ぎ目で1.5cm程度</p> <p><input type="checkbox"/> ④旧コンクリートに打継ぐ場合の材料が、0.75以上1.0m未満リフトの場合で3日(中2日)、1.0m以上1.5m未満リフトの場合で4日(中3日)、1.5m以上2.0m以下の場合は5日(中4日)に達した後に、新コンクリートを打継いでいること。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤コンクリート打込み用バケットの下端が打込面上1.0m以下であること。打込箇所のできるだけ近くに排出していること。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑥打ち出したコンクリートを内部振動機を使って型枠内で振動してはならないこと。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑦コンクリートを打込み直後に、直ちに打込箇所を有する内部振動機(バックホウ搭載型、又は手持ち式)で締め固めていること。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑧1リフトの厚さは0.75m以上2.0m以下とし、同一区画内は連続して打ち込みしていること。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑨1リフトを数層に打てて打ち込まれる場合は、締固めた後の1層の厚さが4.0~5.0cm以下となるように打ち込み、下層のコンクリートが固まり始める前に上層を打設し、内部振動機を下層のコンクリートの中に1.0cm程度挿入し、上層と下層が一体となるように締め固めていること。</p> <p><input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後には型枠及び養生工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①型枠及び養生の取り外しの時期及び順序について、設計図書に定められていない場合には、構造物と同じような状態で養生した供試体の圧縮強度をもとに、セメントの性質、コンクリートの配合、構造物の種類とその重要性、部材の種類及び大きさ、部材の受ける荷重、気温、天候を考慮して、取り外しの時期及び順序の計画を、施工計画書に記載していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ②型枠・支保工の取外し前に、構造物と同じ状態で養生したコンクリート供試体の圧縮強度を確認し、取外しを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ③コンクリートがその自重及び施工中に加わる荷重を受けるのに必要な強度に達するまで、型枠・支保工を取外していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ④型枠の組立に使用した締め付け材及び養生の穴を、本体コンクリートと同等以上の品質を有するモルタル等で修繕していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ⑤マスコンクリートの場合は、温度及び制氷制御のため、型枠養生期間を考慮していること。</p> <p><input type="checkbox"/> 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①地山工などの地山との取り付け方法が適切であること。</p>					

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行った。
	舗装工事	<p>【評価対象項目】</p> <p>【路床・路盤工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 設計図書に定められた試験方法でCBRR値を測定していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④ミルシートで、路床材、路盤材の修正CBRR値が確認でき、設計図書を確認していること。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工のブルーリングについては、ブルーローリングを実施していることが確認でき、異状があった場合はその対応をしていること。 <input type="checkbox"/> 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満たしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④路床及び路盤工の締め固めを、修正CBRR試験で得られた最適含水比付近で行っていること。 <input type="checkbox"/> 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 路盤の施工に先だって、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④路床、下層路盤の仕上げり面を、浮石及び有害物が無いこと。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、一層の仕上げり厚を20cm以下とし、各層ごとに締め固めていること。 <input type="checkbox"/> ④一層の仕上げり厚を20cm以下とし、各層ごとに締め固めていること。 <input type="checkbox"/> 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締め固めが、タンバ等の小型締め固め機械により施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④構造物の隣接箇所や狭い箇所の締め固めを、タンバ、振動ローラ等の小型機械で施工していること。 <input type="checkbox"/> ④燃管等の構造物がある場合、過重な編土圧がかからないように盛土し、締め固めていること。 <p>その他理由： 【アスファルト舗装工関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> ④配合設計及び試験練りの結果が規格を満たしていること。 <input type="checkbox"/> ④事前審査認定証(有効期限を確認)が提出されていること。 <input type="checkbox"/> 舗装の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④上層路盤の仕上げり面の全容写真等により、浮石及び有害物が無いこと。 <input type="checkbox"/> プラント出荷時、現場到着時、舗装時の温度管理を実施し、施工管理基準に示す測定頻度、温度を満たしていること。 <input type="checkbox"/> ④出荷時、現場到着時、舗装時の温度管理を記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 舗装後の交通開放が、定められた条件を満たしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④開放温度の管理をしており、定められた温度以下で開放していること。 <input type="checkbox"/> ★ 舗装表面温度が50℃以下 <input type="checkbox"/> 各層の締め目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④各層との縦継目の位置15cm以上、横継目の位置を1m以上ずらしていること。 <input type="checkbox"/> 縦継目及び横継目の位置、構造との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満たしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④縦継目、横継目の位置がそれぞれ設計値以上を満たしていること。 <input type="checkbox"/> ④接合面に塗布材料薄く塗布しているか。 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の運搬及び舗装にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④アスファルト混合物の温度低下を防ぐため、運搬中はシート類で荷台を覆っていること。 <input type="checkbox"/> ④降雨が予想される日は、舗装を避けていること。 <input type="checkbox"/> 密度管理が設計図書の仕様を満たしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④密度試験を施工管理基準に示す測定頻度で実施し、病格値を満たしていること。 <p>その他理由：</p>						

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと試験対象項目の履行状況(評価係数)から判断する。 <判断基準参照>	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		【評価対象項目】 【共通】						
		<input type="checkbox"/> 施工基礎が平滑に仕上げられていることが確認できる。(特に法砕工、コンクリート又はモルタル吹付工関係) <input type="checkbox"/> ①法砕 (ブルキヤスト法砕、弾道吹付法砕)、吹付工の切上法面、盛土表面を平滑に仕上げること。						
		<input type="checkbox"/> 施工に際して、品質に言及する施工の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①法砕の施工に先立ち、覆った転石、岩塊等を除去していること。 <input type="checkbox"/> ②吹付工の施工面が均整の場合、こみ、土泥、浮石等を除去していること。						
		<input type="checkbox"/> 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起らないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①法砕工の施工にあたり盛土表面を締め固めていること。 <input type="checkbox"/> ②吹付面が土砂の場合、吹付厚により土砂が散乱しないように打ち固めていること。						
		<input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起らないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①施工にあたり、斜面上部からの雨水処理、斜面からの凍氷処理を行っていることが確認できる。						
		<input type="checkbox"/> その他理由： 【覆土吹付工、容土吹付工、補生基材吹付工関係】						
		<input type="checkbox"/> 土質試験を実施し、施工に反していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①覆土吹付の前、法面の土質硬度及び土量試験 (PH) を実施し、吹付厚や覆土配合を決定していること。						
		<input type="checkbox"/> ネットなどの構内に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①養生シート、養生マットが地山と密着しており、隙間がないこと。						
		<input type="checkbox"/> ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①養生シート、養生マットが自重により破損しないように、ネットを取り付けていること。						
		<input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①吹付け厚さが土工管理基準の絶対値以内であること。(例：土工管理基準が20の場合、±20以内)。						
		<input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①設計図書仕様を満足する種類、品質、配合の材料を使用していること。						
		<input type="checkbox"/> 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①設計図書に示された施工時期に施工している、指定が無い場合は乾燥期を避けていること。						
		<input type="checkbox"/> その他理由： 【コンクリート又はモルタル吹付工関係】						
		<input type="checkbox"/> 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①使用するコンクリート (モルタル) の品質及び配合が設計図書仕様を満足していること。 <input type="checkbox"/> ②金網及びアンカー部の種類、品質、使用本数が設計図書仕様を満足していること。						
		<input type="checkbox"/> 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①金網の重ね幅を10cm以上確保していること。 <input type="checkbox"/> ②金網の設置位置を引き上げ棒を使用して、仕上がり面からの間隙を確保していること。 <input type="checkbox"/> ③金網を地山にアンカー部、補助アンカーピンで固定していること。						
		<input type="checkbox"/> 金網が破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①金網に異常な変形や、断線、破れ等がないこと。						
		<input type="checkbox"/> 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①吹付け面が吸水性の場合は、事前に吸水させていること。						
		<input type="checkbox"/> 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①吹付け厚さの管理値のばらつきが小さいこと。						
		<input type="checkbox"/> 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①吹付け厚さが10cm以上となる場合は、2層以上に分割していることが確認できること。 <input type="checkbox"/> ②2層以上に吹き付けられる場合は、層間にはく離を生じないように施工していることが確認できること。						

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来はえ	Ⅰ. 品質	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行った。
	基礎工事及び地盤改良工事	<p>【評価対象項目】</p> <p>【杭関係 (コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等)】</p> <input type="checkbox"/> 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①杭の表面、継手、開先部分等に腐蝕(補修を含む)が無いこと、及びたわみ、変形がないこと。 <input type="checkbox"/> ②杭頭打撃等により杭が損傷した場合は、補修又は取替えていること。 <p>既成杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。</p> <input type="checkbox"/> ①既成杭の打止めや場所打杭の杭長決定の方法を施工管理計画書に記載するとともに施工記録を整備し、施工も適正であること <input type="checkbox"/> ②既成杭を施工していること(既製杭、場所打杭) <input type="checkbox"/> ③打込不能(又は掘削不能)や設計図書に示された支持力に達しない場合、処置方法について監督員と協議していること。 <input type="checkbox"/> ④埋込み工法を用いる杭の先端処理がセメントミルク噴出機併用方式又はコンクリート打設方式の場合、杭先端が設計図書に示された付近に達した時点で支持層の確認をしていること、その資料を整理していること。 <p>杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認でき。</p> <input type="checkbox"/> ①杭頭処理において、杭本体を損傷しないように施工していること。 <input type="checkbox"/> ②場所打杭の場合、設計図書に示す打上がり面より50.0cm(又は80.0cm)以上高く打ち込み、硬化後所定の高さまで取り壊していること。 <p>水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <input type="checkbox"/> ①水平度、鉛直度等が、施工管理基準を満足している。 <p>溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <input type="checkbox"/> ①溶接工の資格証明書を確保できるとともに、共通仕様書に示された方法で施工していること。 <p>支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。</p> <input type="checkbox"/> ①掘削深さ、掘削土砂、地質柱状図及びサンプルなどにより確認できること。(場所打ち杭・深礎工) <p>場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入していること。</p> <input type="checkbox"/> ①トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入していること。 <input type="checkbox"/> ②ケーシングチェーンの引き抜きにあたり、ケーシングチェーン下端をコンクリート打設面より2m以上挿入していること。 <p>掘削深さ、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <input type="checkbox"/> ①掘削中の孔壁崩壊を防止するため、孔内水位を外水位より低下させないようにするとともに、掘削深さ、排出土砂、孔内水位の変動、安定液の濃度、比重の状況について、管理しながら掘削していること。 <p>配筋、スベアーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</p> <input type="checkbox"/> ①場所打杭の鉄筋がこのかぶり確保のため、スベアーを同一深さ位置に4箇所以上、深さ方向5m間隔以下で取り付けていること。 <input type="checkbox"/> ②場所打杭の鉄筋がこの継手を重ね継手としていること。 <input type="checkbox"/> ③鉄筋がこの絶縁にあたっては、形状保持のための溶接を行っていること。(場所打杭、深礎工) <input type="checkbox"/> ④深礎工の鉄筋は、所定の位置に堅固に組み立てるとともに、曲がりやしれがないように土留材に固定していること。 <input type="checkbox"/> ⑤深礎工の軸方向の鉄筋は構橋式継手とし、せん断補強鉄筋は重ね継手または機械式継手としていること。 <input type="checkbox"/> ⑥場所打杭のコンクリート打設に先立ち、スライムを除去していること。 <input type="checkbox"/> ⑦コンクリートの打ち込みは、連続して打設していること。(場所打杭、深礎工) <input type="checkbox"/> ⑧コンクリートの打ち込みにあたって、打込量、打込高を常に計測していること。(場所打杭、深礎工) <p>ライナープレートの組立にあたり、偏心や歪が無く施工されていること。</p> <input type="checkbox"/> ①ライナープレートに偏心や歪が無く施工されていること。 <p>裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。</p> <input type="checkbox"/> ①土留め材と地山との間に生じた空隙部には、全長にわたって裏込材注入しており、施工記録から圧力(0.1N/mm ² 程度)などが確認できる。 <p>強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係る事項の管理資料を整理していることが確認できる。</p> <input type="checkbox"/> ①埋込み工法を用いる杭の先端処理方法が、セメントミルク噴出機併用方式による場合は、強度、比重などが管理資料から確認できること。 <p>その他理由： 【地盤改良関係】 <input type="checkbox"/> ①改良材全数のパッチ管理記録が確認できること。 <input type="checkbox"/> セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①固結工法のセメントミルク噴出機併用方式による場合は、セメントミルク比重、噴出量及び強度などが管理資料から確認できること。</p>						

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	I. 品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <input checked="" type="checkbox"/> <判断基準参照> 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①事前に現場土を用いた土質試験により、改良材の添加量を3パターン以上変えた一軸圧縮強度試験結果から必要添加量が設計強度(室内配合強度)を満足していることが確認できること。 <input type="checkbox"/> *中部部地域の島尻層群(泥岩層)の場合は、ソイルセメントの発現強度が一律ではなく、地域によっては発現強度が低い、という報告もある。そのことを踏まえ、事前の現場土を用いた土質試験は確実にすること。 <input checked="" type="checkbox"/> *【参考】北海道のピート層(泥炭層)は、フミン酸などが含まれているためソイルセメントの強度発現が著しく低く、固結した改良体が形成されない場合がある。そのため、セメントとの反応を阻害する「フミン酸など」の含有割合を事前に把握する必要がある。 <input type="checkbox"/> 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①施工対象エリアの支持層地盤が変化している場合は、改良体が施工管理計画に基づいて確実に支持層に着床していることが管理資料から確認できること。 <input type="checkbox"/> その他理由：	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行った。
		※ 品質のばらつき度 <input type="radio"/> ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。 <input type="radio"/> ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。 <input checked="" type="radio"/> ばらつきが規格値の概ね80%を超える。	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている <input type="checkbox"/> 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 端部及び天端の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不可視部分の出来ばえの良さが伺える。 ※ 地盤改良はC評価とする。	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている
III. 出来ばえ	基礎工事及び地盤改良工事	※ 基礎工事は右記判断基準で評価するが、地盤改良工事は内部の出来ばえが判断できないため、「c評価」にチェックする。		<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている

●判断基準

評価値	50%以下		50%以下		80%以下		80%以下		80%以下		80%以下	
	a	a'	b	b'	c	c'	d	d'	e	e'	f	f'
90%以上	a	a'	b	b'	c	c'	d	d'	e	e'	f	f'
75%以上90%未満	a	a'	b	b'	c	c'	d	d'	e	e'	f	f'
60%以上75%未満	b	b'	c	c'	d	d'	e	e'	f	f'	g	g'
60%未満	b	b'	c	c'	d	d'	e	e'	f	f'	g	g'

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきを判断できない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- 判断基準
- 該当3項目以上.....a
- 該当2項目.....b
- 該当1項目.....c
- 該当項目なし.....d

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。 <判断基準参照>	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が修補指示を行った。
	海岸工事	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「コンクリート構造物工事」を参照 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 運搬、打設、締め固めが、気象条件に適しており、設計図書仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ①運搬、打設、締め固め、養生については「コンクリート構造物工事」を参照 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ②水中打ち込みを行っていないこと。やむを得ず水中コンクリートで施工する場合は監督職員の承諾を得ていること。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ③コンクリートプロットの打込みにあたっては、打雑目を設けていないこと。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が該当現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 「コンクリート構造物工事」を参照 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリートプロットの転覆及び振盪にあたって、強度確認を行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ①脱型後の横置き、仮置きは吊り上げに必要な強度に達したことを確認して行っている。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ②吊上げの際、急激な振盪や力加わらないように取り扱っていること。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ③プロットには製作番号を表記していること。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 転倒や崩壊等が無いようコンクリートプロットの仮置を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ①仮置き場所の不陸を均していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ②プロットの据付にあたっては、ブロック相互の接合部に段差が生じていないこと。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ③プロットの据付にあたって、ブロック層の自然空間に間詰りを挿入していないこと。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ④プロットの据付にあたって、基礎面とブロック、ブロック相互の間に噛み合わせ石等をしていないこと。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 捨石基礎の均し面を平坦に仕上げているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ①運方を配置し、貫材、鋼製定規を用いて、均し面を平坦に仕上げていること。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ②基礎捨石は、大小の石で噛み合わせ良く、均し面にゆるみがないように施工していること。 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 台風など異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> ①台風、高潮、波浪、副振動による異常潮位等の異常気象への備えを事前に行っていること。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 理由 ※ 品質のばらつき度 ○ ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。 ○ ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。 ○ ばらつきが規格値の概ね80%を超える。 ● ばらつきで判断不可能	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が修補指示を行った。
Ⅲ. 出来ばえ	海岸工事	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の透りが良い。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 漏れ水がない。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> b やや優れている	<input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。	<input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	●判断基準 該当5項目以上.....a 該当4項目.....b 該当3項目.....c 該当2項目以下.....d	●判断基準 ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超える ばらつきで判断不可能 90%以上 a, a', b, b' 75%以上 90%未満 a, a', b, b' 60%以上 75%未満 b, b', c, c' 60%未満 b, b', c, c' (注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきでの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
	コンクリート構造物工事 (PC及びRCを対象)	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材)が確認できる。 <input type="checkbox"/> ■ 「コンクリート構造物工」を参照	<input type="checkbox"/> コンクリート受入れ時に必要な試験を実施しており、温度、ｽﾗｯｸ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> ■ 「コンクリート構造物工」を参照	<input type="checkbox"/> 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ■ 「コンクリート構造物工」を参照	<input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締め固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ■ 「コンクリート構造物工」を参照	<input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ■ 「コンクリート構造物工」を参照	<input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が、証明書等で確認できる。 <input type="checkbox"/> ■ 「コンクリート構造物工」を参照	
				<input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書仕様の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ■ 「コンクリート構造物工」を参照				
				<input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ■ 「コンクリート構造物工」を参照				
				<input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ■ 「コンクリート構造物工」を参照				
				<input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ■ 「コンクリート構造物工」を参照				
				<input type="checkbox"/> コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ■ 「コンクリート構造物工」を参照				
				<input type="checkbox"/> ｽｰｰの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ■ 「コンクリート構造物工」を参照				
				<input type="checkbox"/> プレヒーム桁のプレフレクション管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①プレヒーム桁のプレフレクション管理計画を施工計画に記載するとともに、荷重計の示度及び締結のたわみによって管理していること。				
				<input type="checkbox"/> 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①プレヒーム桁のプレフレクションに先立ち、載荷装置のキャリブレーションを行っている。 <input type="checkbox"/> ②プレストレッシングに先立ち、引張装置のキャリブレーションを実施しており、PC鋼材のプレストレッシングに用いる摩擦係数及びPC鋼材の見かけのヤング係数を求める試験を実施している。				
				<input type="checkbox"/> PC鋼材の緊張及びグラウト注入、緊張管理計画を監督員に提出し、管理している。 <input type="checkbox"/> ②グラウトの材料が設計図書の規格を満足し、事前に各種試験(流動性試験、ブリーチング率、体積変化、圧縮強度、塩化物含有量)を実施し、施工管理値が設計図書に定める仕様を満足している。				
				<input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート圧縮強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①プレストレッシングに先立ち、緊張管理計画を監督員に提出し、管理している。				
				<input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①プレストレッシング時の圧縮強度が、 プレストレッシング直後にコンクリートに生じる圧縮率の1.7倍以上であること。				

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来はえ	II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <input type="checkbox"/> 「コンクリート構造物工」を参照 有きなクラックが無い。 その他理由: ※ 品質のばらつき度 ○ ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。 ○ ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。 ● ばらつきが規格値の概ね80%を超える。 ● ばらつきで判断不可能	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		●判断基準 90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満 (注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきを判断できない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。	50%以下 a, a' a, a' b, b' b, b' c, c' c, c'	ばらつきで判断可能 ばらつきで判断可能 ばらつきで判断不可能				
	III. 出来はえ	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		<input type="checkbox"/> コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、隅部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 支保部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	●判断基準 該当5項目以上... a 該当4項目... b 該当3項目... c 該当2項目以下... d					

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	b	b'	c	d	e	
3. 出来形及び出来ばえ	品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	
	塗装工事	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 乾燥状態で施工している。 <input type="checkbox"/> ケレンを入念に実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①設計図書に示された薬剂調整種別に準じて、定められた方法で実施している。 <input type="checkbox"/> 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①気象条件等を確認して施工しており、作業禁止条件で塗装をしていないこと。 <input type="checkbox"/> 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①攪拌し、均一な状態にしていること。 <input type="checkbox"/> 網材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①網材表面及び被塗装面の汚れ、油等を除去している。 <input type="checkbox"/> ②塩分の付着の恐れがある場合は、塩分付着量の測定を行い、NaClが50mg/m ² 以上の時は水洗いをしている。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①塗料の搬入写真、空缶写真で使用量が確認でき、設計数量に対する使用量を管理していること。 <input type="checkbox"/> 塗りの残しやながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①塗りが残しやながれ、しわ等の欠陥が無いこと。 <input type="checkbox"/> 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①共通仕様書の定めに従い適切に膜厚管理をしており、構造の複雑な部分においても、必要塗膜厚を確保していること。 <input type="checkbox"/> 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月、ロット番号、色彩、数量が確認できる。 <input type="checkbox"/> ①塗装作業の開始前に監督職員の確認を受けた出荷証明書、塗料成績表で塗料の品質が確認できること。	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。	
Ⅲ. 出来ばえ	塗装工事 (工場塗装を除く)	<input type="checkbox"/> a 覆れている <input type="checkbox"/> 塗装の均一性が良い。 <input type="checkbox"/> 細部まできめ細やかな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 補修箇所が無い。 <input type="checkbox"/> ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> b やや覆れている <input type="checkbox"/> *均一性は、各ロットの平均厚さ、標準偏差が概ね同程度であるとき評価する。	<input type="checkbox"/> a 覆れている <input type="checkbox"/> b やや覆れている <input type="checkbox"/> *均一性は、各ロットの平均厚さ、標準偏差が概ね同程度であるとき評価する。	<input type="checkbox"/> 品質のばらつき度 ※ ○ ○ ○ ○ ●	●判断基準 50%以下 80%以下 80%を超え a' a' b' b' a b b' b' a b b' b' b' c c c b' c c c ばらつきで判断不可能 ばらつきで判断不可能 ばらつきで判断不可能 ばらつきで判断不可能 ばらつきで判断不可能 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきでの判断ができない場合は評価対象項目(評価)だけで評価する。	●判断基準 該当4項目以上.....a 該当3項目.....b 該当2項目.....c 該当1項目以下.....d

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
	植栽工事	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 活着が促されるよう管理していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①写真等により、密土材に石や礫分の混入や有害物の混入が確認できること。 <input type="checkbox"/> 樹木などに換腐はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施肥完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 肥料が直達樹木の根にふれないよう均一に施肥していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①掘った植穴底部を耕していることが写真等で確認できること。 <input type="checkbox"/> 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 植名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①植名板を設置しているのみではなく、動線側にに向けて設置していること。 <input type="checkbox"/> ②視認できない場合は、評価しない。	①植名板を視認しているのみではなく、動線側にに向けて設置していること。 ②視認できない場合は、評価しない。	①掘った植穴底部を耕していることが写真等で確認できること。 ②視認できない場合は、評価しない。	①掘った植穴底部を耕していることが写真等で確認できること。 ②視認できない場合は、評価しない。	①掘った植穴底部を耕していることが写真等で確認できること。 ②視認できない場合は、評価しない。	①掘った植穴底部を耕していることが写真等で確認できること。 ②視認できない場合は、評価しない。	①掘った植穴底部を耕していることが写真等で確認できること。 ②視認できない場合は、評価しない。
	III. 出来ばえ	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>
	植栽工事	<input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>

●判断基準

評価値	90%以上	80%以下	50%以下	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断不可能
	a	a'	a	a	a
	b	b'	b	b	b
	c	c'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきでの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- 判断基準
- 該当3項目以上..... a
- 該当2項目..... b
- 該当1項目..... c
- 該当項目なし..... d

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	審査項目	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 電線共同溝工事	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 管路の透過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①透過試験の結果が記録として整備されているか、その場合立ち会いも適宜行われているか。 <input type="checkbox"/> プラントの出荷時、現場到着時、鋪設時等のにおいて、アスファルト混合物の温度管理が記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①出荷時、現場到着時、鋪設時の温度管理を実施し、施工管理基準に示す測定頻度、温度を満足していること。 <input type="checkbox"/> 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸がないように仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋め戻しにおいて、設計図書仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①溝幅締め固めが困難な深掘部(30cm以下)は砂等により水締めを行っているか。 <input type="checkbox"/> 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①交通解放を行う場合、舗装復旧が適時行われ、段差や沈下、不陸が無く平坦性を確保していることが写真等で <input type="checkbox"/> 管枕及び埋設シートの設置及び土かぶりがあり、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①管枕、埋設シート土被りが設計図書を満足しているか。 <input type="checkbox"/> ②埋設シートは、折り込み率が2倍以上となるように、折り込んで設置されているか。 <input type="checkbox"/> 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①管の最小曲げ半径は、品質証明書のみでなく、定規等により管の最小曲げ半径が確認できる場合に評価する。 <input type="checkbox"/> その他 : 理由	<input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている <input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。
		※ 品質のばらつき度は、ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。 ○ ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。 ○ ばらつきが規格値の概ね80%を超える。 ● ばらつきで判断不可能	●判断基準 ばらつきで判断可能 50%以下 75%以上90%未満 90%以上 ばらつきで判断不可能 80%を超える a, b, b', c, c', c, c, c					
III. 出来ばえ	電線共同溝工事	<input type="checkbox"/> a優れている <input type="checkbox"/> 歩道及び車道の舗装(含、仮復旧舗装)の勾配が適切で、有るな段差が無く平坦性が確保されている。 <input type="checkbox"/> アーチトコナール・Dyの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから、不可視部分の出来栄の良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> bやや優れている	<input type="checkbox"/> c他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> d劣っている	●判断基準 該当3項目以上.....a 該当2項目.....b 該当1項目.....c 該当項目なし.....d		

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来及び出来ばえ	II. 品質 空港舗装工事	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> aより優れている <input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。
		「既述対象項目」 【路床・路盤工関係】 <input type="checkbox"/> ① 試験成績書等で、路床材、路盤材の修正CBR値が確認でき、設計図書を確認する材料を使用していること。 <input type="checkbox"/> ② 路床、路盤工のブルーローリング（自主管理）を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ 路床、下層路盤工については、ブルーローリングを実施していることが確認でき、異状があった場合はその対応をしていること。 <input type="checkbox"/> ④ 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤ 路盤の施工に先立ち、路床面、下層路盤面の浮き石、有害物を除去してから施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ 路床、下層路盤の仕上がり面の全量写真等により、浮石及び有害物が無いこと。 <input type="checkbox"/> ⑦ 路床盛土において一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締め固めていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑧ ①一層の仕上り厚を20cm以下とし、各層ごとに締め固めていること。 <input type="checkbox"/> ⑨ 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締め固めが、タンバ等の小型締め固め機により施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩ 構造物の隣接箇所や狭小箇所の締め固めを、タンバ、振動ローラ等の小型機で施工していること。 <input type="checkbox"/> ⑪ 排水管等の構造物がある場合、適量な編土工仕がからないように盛土し、締め固めていること。 <input type="checkbox"/> セメント安定処理路盤の仕上げ完了後、直ちにプライムコートを散布し養生されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑫ プライムコートに使用する瀝青材料の種類及び散布量は、設計図書の定めによること。 <input type="checkbox"/> ⑬ 上層路盤において一層の仕上がり厚を15cm以下とし、各層ごとに締め固めていること。 <input type="checkbox"/> ⑭ ①一層の仕上り厚を15cm以下とし、各層ごとに締め固めていること。 <input type="checkbox"/> ⑮ 他の構造物の隣接する箇所及び狭い箇所において、小型機等により入念に締め固めていることが確認できる。						
		【アスファルト舗装工関係】 <input type="checkbox"/> ① 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験値が行われており、適切な混合物の規格が確認できる。 <input type="checkbox"/> ② アスファルト混合物の量測精度の適用工程は除く。 <input type="checkbox"/> ③ ④ 配合設計及び試験値の結果が規格を満足していること。 <input type="checkbox"/> ⑤ 混合物の温度管理が、プラント出荷時、現場到着時、舗装時等で整理・記録されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑥ ⑦ 出荷時、現場到着時、舗装時の温度管理を実施し、施工管理書に示す測定頻度、温度を満足していること。 <input type="checkbox"/> ⑧ 舗装後、直ちに仕用する必要がある現場で、交通開放を設計図書に定められた条件に従って行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑨ 開放温度の管理をしており、定められた温度以下で開放していること。 <input type="checkbox"/> ★ 舗装表面温度：50度以下（ストリートアスファルト混合物）、70度以下（改質アスファルト混合物） <input type="checkbox"/> ⑩ 舗装の各層の総厚が仕様書に定められた数値以上確保されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪ 各層との縦継目の位置15cm以上、横継目の位置を1m以上確保していること。 <input type="checkbox"/> ⑫ 自地の処理が仕様書に定められた通りであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑬ ⑭ 構造物との接合面に瀝青材料薄く塗布しているが、 <input type="checkbox"/> ⑮ 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗装作業（締め固め等）の配慮が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑯ アスファルト混合物の温度低下を防止するため、運搬中はシート類で荷台を覆っていること。 <input type="checkbox"/> ⑰ 降雨が予想される日は、舗装を避けていること。 <input type="checkbox"/> ⑱ 上層路盤面の浮き石等の有害物を除去・清掃してから舗装工の施工がなされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑲ ⑳ 上層路盤の仕上がり面の全量写真等により、浮石及び有害物が無いこと。 <input type="checkbox"/> ㉑ 清走路、誘導路の掃り付けの結果が規格を満足していること。 <input type="checkbox"/> ㉒ 清走路、誘導路の掃り付けが、設計図書に定められた条件に従って施工されていることが確認できる。						
		【コンクリート舗装工関係（PC舗装含む）】 <input type="checkbox"/> ① 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び現場練りコンクリートの場合は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c比・最大骨材粒径、塩基総量等）が確認できる。 <input type="checkbox"/> ② 配合試験の結果（配合試験を省略できる場合は配合設計図書で）、強度、単位セメント量、単位結合材量、単位水量、W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、アルカリ骨材反応抑制等が確認でき、適切なコンクリートの品質を確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③ ④ 配合試験が必要な工事で配合試験を実施していない場合は、評価しない。						

考查項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e					
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> コンクリート打設時に必要な供試体を採取し、強度、スランプ、空気量等を試験した結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> ①受入検査を実施しており、温度、スランプ、空気量及び供試体の強度等が適正である。 <input type="checkbox"/> ②強度試験用の供試体の作成、標準養生の状況が確認できる。 <input type="checkbox"/> ③撮影角度、方向、焦点が不適切で目盛が読み取れないものは、評価しない。	<input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている <input type="checkbox"/> ①アジテータから試料を採取し供試体を作成したことが現場を背景とした写真で確認でき、 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体の「トレンサビディティ（追潤）」が確認できること。 <input type="checkbox"/> ②写真から現場で作成したことが確認できない場合は、評価しない。	<input type="checkbox"/> ①適切な保管していること。 <input type="checkbox"/> チェア、パイパー等の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①適切に保管していること。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の規格がミルシートまたは公的機関の試験成績表で確認できる。 <input type="checkbox"/> ①ミルシート、品質証明書等で品質及び数量が確認でき、工事写真でローママークが確認できること。	<input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度または曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①鉄筋の組立て前及び組み立てからコンクリートを打込みまでに、鉄筋位置のずれ、どろや油等の付着がないか点検し、清掃した後、打設していること。	<input type="checkbox"/> 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①圧接工は、JIS Z 881（ガス圧接技術者における試験方法及び判定基準）に定められた試験のうち、その作業に該当する試験の技量を有する技術者の資格証明書の写しを監督職員に提出した資料及び本人が行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②自動ガス圧接装置を取り扱う者は、JIS Z 3112（鉄筋コンクリート用棒鋼）に規定する棒鋼を鉄筋・アセチレン炭により圧接する技量を有する技術者本人が行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/> スペーサーの材質が適正で品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> ①型枠に接するスペーサー：本体コンクリートと同等以上の品質を有するコンクリート製か、モルタル製のスペーサーを使用している。 <input type="checkbox"/> ②上記以外のスペーサーを使用する場合は（プラスチック製スペーサーは、コンクリートと熱膨張率の相違、付着及び耐向力不足、ステンレス製の耐食性金属でできたスペーサーは異種金属間の液蝕腐食）は、事前に監督職員の承認を受けたことが確認できる。	<input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶり確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③設計図書に特別に定めがない限り、鉄筋のかぶりを保つよろスペーサーを設置し、構造物の側面で2個/m ² 以上、構造物の底面で4個/m ² 以上設置したことの確認ができる。 <input type="checkbox"/> ④鉄筋のかぶり（コンクリート表面から鉄筋までの最短距離）が、設計図書を満たしていることが確認できる。	<input type="checkbox"/> 緊縛及びグラウト管理が適切に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①プレストレッシングに先立ち、緊張管理計画を監督員に提出し、管理している。 <input type="checkbox"/> ②グラウトの材料が設計図書の規格を満たし、事前に各種試験（流動性試験、ブリーディング率、体積変化、圧縮強度、塩化物含有量）を実施し、施工管理値が設計図書に定める仕様を満たしている。	<input type="checkbox"/> プレストレッシング時のコンクリート強度が最大圧縮強度の1.7倍以上であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったり、監理職員が不適切である。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったり、監理職員が不適切である。
		<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリートカルバートは、機能阻害する欠損やひび割れ等の損傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> PCボックスカルバートは、機能阻害する欠損やひび割れ等の損傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管渠（コンクリート管等）は、機能阻害する欠損やひび割れ等の損傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 管渠（マンホール及び蓋）は、機能阻害する欠損やひび割れ等の損傷がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基準高、方向等前後の水留となじみよく取り付けていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎の掘削において掘り過ぎがなく施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎の掘削の湧水及び排水などは、排除して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 埋戻し材料について設計図書を満たしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがない。											

考査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	<input type="checkbox"/> 防塵網（綿）・標識・区画線関係 <input type="checkbox"/> 防塵網設置標準 道路標識がD、F等の指定に低く適切に施工し、規格値を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> H、I方式(常温式)区画線に使用するカチの使用量が、10%程度以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 塗料の空缶管理が、写真等で確実に示されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①塗料管理記録から確認できること。 ★塗料の「トレーサビリティ」が確認できること（塗料缶のロットNOが整合している）。 <input type="checkbox"/> 防塵網長短の仕上がり面において、地山を乱さないように、不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防塵網の支柱の施工により既設舗装に悪影響を及ぼしていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが厚本で確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の閉塞性が風間、夜間ともに確認されている。 <input type="checkbox"/> 設置路面の水分、泥、砂じん、ほこりを取り除いて区画線の施工がなされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の除去が、表示材（塗料）のみの除去となり路面への影響が最小値となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プライマーを路面に均等に塗布して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 品質のばらつき度 <input type="checkbox"/> ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。 <input type="checkbox"/> ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。 <input type="checkbox"/> ばらつきが規格値の概ね80%を超える。 <input checked="" type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能	<input type="checkbox"/> a'より優れている <input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評面に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった
	III. 出来ばえ	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評面に該当し <input type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評面に該当し <input type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> c 他の評面に該当し <input type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物等の表面仕上げ及び端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物等へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物等のさめ網やかな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> 他の評面に該当し <input type="checkbox"/> d劣っている	<input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物等の表面仕上げ及び端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物等へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物等のさめ網やかな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 構造物等の表面仕上げ及び端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物等へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 構造物等のさめ網やかな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。

- 判断基準
- 該当5項目以上..... a
- 該当4項目..... b
- 該当3項目..... c
- 該当2項目以下..... d

評価値	50%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能
a	a'	b'	c	b
b	a'	b'	c	b'
c	b'	c	c	c

注）試験結果の打点数等が少なくばらつきでの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	品質	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	■ 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監理職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
		<p>【評価対象項目】</p> <p>港湾築造工事(浚渫・埋岸築造工事を含む)</p> <p><input type="checkbox"/> 濁り防止等環境保全に十分注意して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①燃焼係率に十分注意しては、濁り防止基準などを踏けて濁度をその基準値以下に抑えていることである。</p> <p><input type="checkbox"/> 既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①既設構造物前面の施工する場合は、施工方法・施工管理基準について施工計画書に記載されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 航行船舶に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①定期船・不定期船、瀬船及び遊漁船の航路や時間帯などを把握して、施工範囲との影響の有無について検討している。</p> <p><input type="checkbox"/> 材料等の品質に異常値が検定される場合、品質確認に必要な試験等が行われていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①気象・海象を十分調査して施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①天気予報を確認して、台風や前線及びうねりなどの情報を把握し避航や施工の判断に活用している。</p> <p><input type="checkbox"/> 仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①施工上の注意事項とは、海土工事共通仕様書5-3-1 一般事項の注意事項を参照</p> <p><input type="checkbox"/> 一般船に十分注意して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 作業船が十分管理下におかれ、縦横されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①施工計画書で、施工時の管理体制のみでなく、夜間時の停泊及び避難時の港が記載されている。</p> <p>【浚渫・床掘関係】</p> <p><input type="checkbox"/> 土砂海上における運搬途中で漏れ出がないように施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①海上での台船運搬時に土砂落下がないように十分に注意して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ②揚土時に土砂落下がないよう注意して施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 浚渫又は床掘工について仕様書に定められた施工上の注意事項が守られていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①施工上の注意事項とは、海土工事共通仕様書5-3-1 一般事項の注意事項を参照</p> <p><input type="checkbox"/> 潮位及び潮流、波浪等の状況が十分に把握して施工されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 土質改良を適切に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①事前に土質試験を実施し、必要追加量の設定を行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 土捨て場土量に制約がある場合、適切な土量で、許容範囲に精度良く平坦に仕上がっている。</p> <p><input type="checkbox"/> ①掘土置き場に制約がある場合、梁堀りもなく、余堀り水深程度でばらつきも小さいことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 土捨て場に制約がなく、梁掘りしても周辺の構造物に影響がない場合、今後の埋設も考慮し、梁く平坦に仕上がっている。</p> <p><input type="checkbox"/> ①上記項目とは逆に、掘土置き場に制約がない場合のこと。</p> <p><input type="checkbox"/> 土質に對して、適正な船舶、機械を使用し、周辺環境への影響を最小限に抑えている。(大型船による施工で、作業日数短縮等も含む)</p> <p><input type="checkbox"/> 浚渫・床掘時に濁り防止に十分注意して、濁り出がないよう施工していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 浚渫又は床掘工において、作業時場の土質条件、海象条件、周辺海域の利用状況等を考慮して、効果的な作業が可能な作業船を選定して土砂運搬において、施工の効率、周辺海域の利用状況等を考慮して、土砂の運搬経路を決定していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①施工計画書で、土砂の運搬経路が確認できること。</p> <p><input type="checkbox"/> ②ただし、施工の効率、周辺海域の利用状況などを検討した内容の記載がない場合は、評価しない。</p> <p><input type="checkbox"/> 床掘工において、底面、法面の施工で出来形の許容範囲を超えた場合、置換材と同等以上の材料で埋め戻しを行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 置換材の規格・品質が試験成績等(浮物照会を含む)で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 砲潰等の爆発物が発見された場合、関係機関への報告が速やかになされていることが確認できる。</p> <p>【地盤改良関係】</p> <p><input type="checkbox"/> 改良材料の品質管理を適切に行っていることが記録で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 浮泥を巻き込まないよう置換材を投入していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> サンドドレーン、砕石ドレーン、サンドコンパクションパイル及びロッドコンパクションが連続して一様な形状・品質に施工されていることが打込記録により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ベーパードレーンが計画深度まで破損なく正常に形成されていることが打込記録等により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 梁掘混合処理の打込記録等から、仕様書に定められている事項が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 前記以外の改良工法について、記録から仕様書に定められている事項が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 盛土り土の状況確認及び管理を適切に行っていることが記録で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 捨石、被覆石等の石材は、扁平程度でなく、風化現象の恐れのないものが使用されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> マットが破損なく施工され、記録により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 捨石、被覆及び保固め石の施工が平滑に仕上げられていることが確認できる。</p>						

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	品質	品質関係の試験結果の 目録の履行状況(評価 値)から判断する。 <判断基準参照>	□ 同左	□ 同左	□ 同左	■ 同左	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であった ため、監査員が文書で 指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は 測定値が不適切であつた ため、検査員 が修補指示を行った。
		【マット、捨て及び均し調整】 □ 捨石、被覆石などの材料の規格・品質が試験仕様等(現物照合を含む)で確認でき マットが破損なく所定の幅で重ね合わされていることが写真記録等により確認できる。						
		□ 重ね合せ幅は、以下のとおり ①アスファルトマット：50cm以上 ②編織系マット：50cm以上 ③合成樹脂系マット：30cm以上 ④ゴムマット：50cm以上						
		□ 捨て、被覆及び根固め石がゆるみのないように堅固に施工され、記録により確認できる。 ①本体捨ての余裕厚：指定されている場合、施工計画書での施工方法及び管理が記載され、捨て管理の状況が記録されている。 ②同上：指定されていない場合、余裕厚の有無について監督員と協議している。						
		□ 裏込めが既設構造物及び防砂目地版の破壊がなく施工され、記録により確認できる。 ①裏込め均し：指定されている場合、「整地仕上げ」となっていること。						
		【本体：杭及び矢板、控工関係】 □ 鋼材の規格・数量がミルシート等(現物照合を含む)で確認できる。 □ 鋼材の保管に当たり、変形及び塗層剥離に損傷を与えないよう、適切に処理されていることが確認できる。 □ 杭及び矢板に損傷及び補修痕跡がなく施工されていることが確認できる。 □ 杭及び矢板の打ち止めは、施工管理方法等が整備され、かつ記録が確認できる。 □ 地層の変化、障害物などにより、打ち込み困難な状況が生じた場合、若しくは土質条件に比べて矢板の貫入量が異常に大きい場合、打ち込みを中 断することの記録がある。 □ ②ウォータージェットを用いた矢板の施工：最後の打ち止めは、打ち止め地盤を認めないようジェット噴射を制限・調整して、併用機械で貫 入させ、落し着かせることの記録がある。 □ ③矢板の管理記録：ア) 矢板の貫入量、イ) 杭の打撃回数 □ ④杭の管理記録：ア) 杭の貫入量、イ) 杭の打撃回数、ウ) 打止り付近のリバウンド量、4) 打止り付近のラム落下高又は打撃エネルギー						
		□ 腹ごし材を全長にわたって規定の水平高さに取り付け、ポルトで十分締め付け矢板壁に密着させていることが確認できる。 □ タイロッドは隅角部等特別な場所を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。 □ タイロッドは隅角部等特別な場所を除き矢板法線に対して直角に設置されていることが確認できる。 □ 溶接及び切断の品質管理に關して仕様書に定められた事項が確認できる。 【本体：ケーソン掘削、ブロック掘削関係】 □ ケーソン掘削に先立ち既設構造物を調査し、仮置作業が所定の位置に異常なく行われていることが確認できる。 □ ケーソン掘削に先立ち、気象・海象等を十分調査し、掘削作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 □ ケーソン掘削に先立ち、中絶においてケーソン及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。 □ ケーソン掘削に先立ち、掘削の時期が1m以内になるよう管理されていることが確認できる。 □ ケーソン掘削に先立ち、掘削の時期について、仕様書を満足するよう実施されていることが確認できる。 □ ①選定対策を策定し、えい新中に事故が生じないよう留意事項を施工計画書に記載されていること。						
		□ ブロック掘削においてブロック及び既設構造物等の破損がなく施工されていることが確認できる。 □ ケーソン掘削に先立ち、気象・海象等を十分調査し、適切な時期を選定されていることが確認できる。 □ ケーソン掘削に先立ち、上層、安全ネット又は吊り足場等を設置し、転落防止の措置を講じていることが確認できる。 □ ケーソン掘削に先立ち、掘削の時期が1m以内になるよう管理されていることが確認できる。 □ ケーソン掘削に先立ち、掘削の時期について、仕様書を満足するよう実施されていることが確認できる。 □ ①選定対策を策定し、えい新中に事故が生じないよう留意事項を施工計画書に記載されていること。						
		□ 中絶において海上漏出がないように施工されていることが確認できる。 【コンクリート関係】 □ 設計図書に基づきコンクリートの配合試験及び現場練りコンクリートの場合は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/						
		□ ①打設計画書を作成し、打設時の気温・コンクリート温度管理計画、投入高さ、気温に適した打込み・打込み時間、型枠・支保工の取外し時期 が明記されていることが確認できる。 □ ②配合試験の結果(配合試験を省略できる場合は配合計画書)で、強度、単位セメント量、単位結合材量、単位水量、W/C (又はW/F/B)、最 大骨材粒度、塩化物物質量、アルカリ骨材反応抑制剤等が確認でき、適切なコンクリートの品質を確保していること。 □ ③配合試験が必要ない工事では配合試験を実施していない場合、かつ品質管理データがある場合はOK (配合試験は不要) ★ 記仕様書で配合試験を指定したものの、膨張剤使用のコンクリート場合は配合試験は必須						
		□ コンクリート打設時に必要な供試体採取し、強度、スランプ、空気量等を試験した結果が確認できる。 □ ①受入検査を実施しており、温度、スランプ、空気量及び供試体の強度等が適正である。 □ ②強度試験用の供試体の作成、標準養生の状況が確認できる。 □ ③強度試験角、方向、焦点が不適切で目盛が読み取れないものは、評価しない。						
		□ コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 □ ①アシテータから試料を採取し供試体を作成したことが現場を背景とした写真で確認でき、 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体の「ト レーサビリティ(追跡)」が確認できること。 □ ②写真から現場で作成したことが確認できない場合は、評価しない。						

調査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	<p>品質関係の試験結果のばらつきと取付対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと取付対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと取付対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと取付対象項目の履行状況(評価値)から判断する。</p>	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左 <input checked="" type="checkbox"/> 同左	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監査員が文書で指示を行い改善された。</p> <p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監査員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監査員が文書で指示を行い改善された。</p> <p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監査員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監査員が文書で指示を行い改善された。</p> <p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監査員が文書で指示を行い改善された。</p>
<p>施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のパイプレーダの機構が仕様書に定められた条件を満足している。</p> <p>① 締固後から打ち終わるまでの時間は、原則として外気温が25℃を超える場合で1.5時間、25℃以下の場合では2時間を超えないこと、かつ運搬時間(練混ぜから下ろすまで)は1.5時間以内であることが確認できる。</p> <p>② コンクリートの打ち込みを日平均気温が4℃を超え、25℃以下の範囲に予想される時に実施したことが確認できる。</p> <p>(この範囲にない場合は書中コンクリートの規定による)</p> <p>③ コンクリートの打設作業に際しては、あらかじめ打設計画書を作成し、適切な高さに設定しこれに基づき、打設作業をしたことが確認できる。</p> <p>④ 1回の打設で完了するような小断続構造を除いて1回(1日)のコンクリート打設高さ(吐出口から打ち込み面までの高さ1.5m以下、型枠が高い場合ポンプ配管、漏れ管、ポケット等を)を施工計画書に明記したことが確認できる。</p> <p>⑤ 同一区画内のコンクリートの一層を打設が完了するまで連続して打ち込んでいくこと。</p> <p>⑥ コンクリート表面が一区画内で水平となるように打設する、なお、締め固め能力等を考慮して、コンクリート打設の1層の高さ(1層の高さ40~50cm以下)の確認ができる。</p> <p>⑦ コンクリートを2層以上に分けて打設する場合、上層のコンクリートの打ち込みは、下層のコンクリートが固まり始める前に行い、上層と下層が一体となる(許容打ち重ね時間間隔:25℃を超える場合2時間、25℃以下の場合2.5時間以内)ように打設したことが確認できる。</p> <p>⑧ 打ち込みの表面にブリーディング水がある場合は、除去してから打ち込むこと。</p> <p>⑨ 壁・柱のような幅に比べ高さが大きいコンクリートを連続して打ち込む場合、打ち込み及び締め固めの際、ブリーディングの悪影響を少なくするよう、コンクリートの1回の打ち込み高さ・打ち込み速度を調整(30分につき1~1.5m程度)していることが確認できる。</p> <p>⑩ ジャンカ、コーールドジョイント等の初期不良箇所がある場合は、適正な施工とは認められないため、評価しない。</p> <p>(書中コンクリート)</p> <p>⑪ 気温25℃以上の場合、書中コンクリートとして施工していること。</p> <p>⑫ 減水剤、A.E.減水剤、流動化剤等を使用する場合は、必要に応じて選定型を使用していること。</p> <p>⑬ 打設前の地盤・型枠への吸水・型枠・鉄筋への吸水や日よけを必要に応じて実施し、打設時のコンクリート温度は35℃以下としていること。</p> <p>⑭ 事前に、水和熱による温度耐力及び「温度ひび割れ」に対する十分な検討を行っていること。</p> <p>⑮ 「温度ひび割れ」に関する検討結果に基づき、打ち込み区画の大きさ、リフト高さ、継目の位置及び構造、打ち込み時間間隔を設定していること。</p> <p>⑯ あらかじめ計画した温度を超えて打ち込みを行っていること。</p> <p>コンクリート強度を管理し必要な強度に達した後型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>① 型枠及び支保工の取り外しの時期及び順序について、設計図書に定められていない場合には、構造物と同じような状態で養生した供試体の圧縮強度をもとに、セメントの性質、コンクリートの配合、構造物の種類とその重要性、部材の種類及び大きさ、部材の受ける荷重、気温、天候を考慮して、取り外しの時期及び順序の計画を、施工計画書に記載していることが確認できる。</p> <p>② 型枠・支保工の取り外し前に、構造物と同じ状態で養生したコンクリート供試体の圧縮強度を確認し、取り外しを行っていることが確認できる。</p> <p>③ コンクリートがその自重及び施工中に加わる荷重を受けるのに必要な強度に達するまで、型枠・支保工を除外していることが確認できる。</p> <p>④ 型枠の組立に使用した締め付材及び壁つなぎの穴を、本体コンクリートと同等以上の品質を有するモルタル等で補修していることが確認できる。</p> <p>⑤ マスコンクリートの場合は、温度ひび割れ制御のため、型枠養生期間を考慮していること。</p> <p>鉄筋の規格が品質を証明する書類で確認できる。</p> <p>① ミルシート、品質証明書等で品質及び数量が確認でき、工事写真でロールマークが確認できること。</p> <p>鉄筋の引っ張り強度、曲げ強度が試験値で確認できる。</p> <p>コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう保管管理されていることが確認できる。</p> <p>① 鉄筋の組立て前及び組み立て後からコンクリートを打ち込むまでに、鉄筋位置のずれ、どろや油等の付着がないか点検し、清掃した後、打設していること。</p> <p>鉄筋の組立及び加工が設計図書に満足したものであることが確認できる。</p> <p>① 鉄筋の組立て前及び組み立て後からコンクリートを打ち込むまでに、鉄筋位置のずれ、どろや油等の付着がないか点検し、清掃した後、打設していること。</p> <p>圧接作業に当たり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。</p> <p>① 圧接作業は、JIS Z 3881(ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準)に定められた試験のうち、その作業に該当する試験の技量の技量を有する技術者の資格証明書の写しを監査員に提出した資料及び本人が行っていることが確認できる。</p> <p>② 自動ガス圧接装置を取り扱う者は、JIS Z 3112(鉄筋コンクリート用棒筋)に規定する棒筋を認察・アセチレン炎により圧接する技量を有する技術者本人が行っていることが確認できる。</p>								

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e																																																		
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 ●判断基準参照>	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	■ 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監査員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が修補指示を行った。																																																		
		<input type="checkbox"/> スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶり確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①型枠に接するスペーサー：本体コンクリートと同等以上の品質を有するコンクリート製が、モルタル製のスペーサーを使用している。 <input type="checkbox"/> ②上型枠以外のスペーサーを使用する場合は、コンクリートと熱膨張率の相違、付着及び耐荷力不足、ステンレス製等の耐食性金属でできたスペーサーは異種金属間の接触腐食)は、事前に監査員の承諾を受けたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③設計図書に特別に定めのない限り、鉄筋のかぶりを保つようスペーサーを配置し、構造物の側面2個/m以上、構造物の底面4個/m以上設置したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④鉄筋のかぶり(コンクリート表面から鉄筋までの最短距離)が、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート養生が、仕様が定められた通り行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①表面水の急激な蒸発を防ぐため、打込み直後はシート等で日よけや風よけを設けていること(必要に依りて)。 <input type="checkbox"/> ②表面を荒らさず作業ができる状態まで硬化した後は、養生マットや濡らした布等で覆うか、散水、湿水していること。 <input type="checkbox"/> ③せき板(型枠)が乾燥する恐れがある場合は、せき板(型枠)にも散水していること。 <input type="checkbox"/> ④養生期間を満足し、常に濡潤状態を保っていること。 <input type="checkbox"/> ⑤湿度制御養生、蒸気養生、その他の促進養生方法を行う場合は、施工計画書に養生方法を記載していること。 <input type="checkbox"/> ⑥温度制御養生を行う場合は、監査員と協議していること。 <input type="checkbox"/> ⑦養生中コンクリートの場合は、表面水の急激な蒸発を防ぐため、打込み直後はシート等で日よけや風よけを設けていること。 <input type="checkbox"/> ⑧マスコンクリートの場合は、養生にあたっては温度及び湿度制御が計画どおりに行えるようコンクリート温度を制御していること。また、型枠の材料及び構造を決定するとともに、型枠を適切な期間管理していること。 <input type="checkbox"/> 進行性又は有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> ①事前のひび割れ調査や施工検査で有害なクラックが認められないこと。 <input type="checkbox"/> ★有害なクラック：進行性があるクラック、又は放置すると構造物本体の耐久性の低下や劣化を招く恐れがあるクラックのこと。 <input type="checkbox"/> ★Iコンクリート診断工等の専門技術者のひび割れ調査報告書等を参考に判断する。	<p>●判断基準</p> <table border="1"> <tr> <td>50%以下</td> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> <td>ばらつきで判断不可能</td> <td>ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>a</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c'</td> <td>d</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>c'</td> <td>d</td> <td>d'</td> <td>e</td> <td>c</td> <td>c'</td> </tr> </table> <p>品質のばらつき度 ○ ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。 ○ ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。 ○ ばらつきが規格値の概ね80%超える。 ● ばらつきで判断不可能</p>	50%以下	50%以下	80%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能	ばらつきで判断不可能	a	a'	b	b'	c	a	a'	b	b'	c	c'	d	b	b'	c	c'	d	d'	e	c	c'	<p>●判断基準</p> <table border="1"> <tr> <td>90%以上</td> <td>90%以上</td> <td>90%以上</td> <td>90%以上</td> <td>90%以上</td> <td>90%以上</td> <td>90%以上</td> </tr> <tr> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>a</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c'</td> <td>d</td> <td>b</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>c</td> <td>c'</td> <td>d</td> <td>d'</td> <td>e</td> <td>c</td> <td>c'</td> </tr> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少くばらつきで判断できない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。</p>	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	a	a'	b	b'	c	a	a'	b	b'	c	c'	d	b	b'	c	c'	d	d'	e
50%以下	50%以下	80%以下	80%以下	80%を超える	ばらつきで判断不可能	ばらつきで判断不可能																																																				
a	a'	b	b'	c	a	a'																																																				
b	b'	c	c'	d	b	b'																																																				
c	c'	d	d'	e	c	c'																																																				
90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上	90%以上																																																				
a	a'	b	b'	c	a	a'																																																				
b	b'	c	c'	d	b	b'																																																				
c	c'	d	d'	e	c	c'																																																				
III. 出来ばえ	港湾築造工事(浚渫・埋岸築造工事を含む)	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input type="checkbox"/> d 劣っている	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。 <input type="checkbox"/> d 劣っている	<p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上..... a 該当4項目..... b 該当3項目..... c 該当2項目以下..... d</p>																																																	

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e		
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	品質関係の試験結果はらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	□ 同左	□ 同左	□ 同左	■ 同左	品質関係の測定方法又は測定値の不適合があったため、監督員が文書で指摘を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値の不適合があったため、監督員が文書で指摘を行い改善された。		
		<input type="checkbox"/> ①1回の打設で済ませるなら小規模標準を以て1回(1日)のコンクリート打設高さ(吐出口から打ち込み面までの高さ)1.5m以下、型枠が高い場合はポンプ配管、漏斗管、ボケット等を施工計画書に明記したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②同一区画内のコンクリートの一層を打設が完了するまで連続して打ち込みしていること。 <input type="checkbox"/> ③コンクリート表面が一区内で水平となるように打設する。なお、締め固め能力等を考慮して、コンクリート打設の1層の高さ(1層の高さは40～60cm以下)の確認ができる。 <input type="checkbox"/> ④コンクリートを2層以上に分けて打設する場合は、上層のコンクリートの打ち込みは、下層のコンクリートが固まり始める前に行い、上層と下層が一体となる。(取替打ち重ね時間間隔:25℃を超えれば2時間、25℃以下の場合は2.5時間以内)のように打設したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤打込み中の表面にブリーディング水がある場合は、除去してから打ち込みを続けること。 <input type="checkbox"/> ⑥壁、柱のような幅に比べ高さの大きいコンクリートを連続して打ち込みの場合、打ち込み開始の壁、ブリーディングの悪影響を少なくするため、コンクリートのイ目の打ち込み高さ、打ち込み速度を確認(30分につき1～1.5m程度)していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦ジャンガ、コーラドジョイント等の初期不良箇所がある場合は、修正後施工とは異なるため、評価しない。 <input type="checkbox"/> ⑧ ■ 中コンクリート <input type="checkbox"/> ①気温25度以上の場合は、暑中コンクリートとして施工していること。 <input type="checkbox"/> ②海水、A/E海水、流動化剤等を使用する場合は、必要に応じて減湿型を使用していること。 <input type="checkbox"/> ③打設時の地震、型枠への吸水、型枠・鉄筋への吸水や日よけを必要に応じて実施し、打設時のコンクリート温度は35℃以下とされていること。 <input type="checkbox"/> ④ 【マスコンクリート】 <input type="checkbox"/> ①事前に、水和熱による温度ひび割れに対する検討結果に基づき、打ち込み区画の大きさ、リフト高さ、継目の位置及び構造、打ち込み時間間隔を設定していること。 <input type="checkbox"/> ②あらかじめ計画した温度を越えて打ち込みを行っていないこと。	<input type="checkbox"/> コンクリート強度を管理し必要強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①型枠及び支保工の取り外しの時期及び順序について、設計図書に定められていない場合は、構造物と同じような状態で養生した鉄筋体の圧壊を考慮し、必要に応じて型枠及び支保工の取り外しの時期及び順序の計画を、施工計画に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②型枠・支保工の取外し前に、構造物と同じ状態で養生したコンクリート鉄筋体の圧壊強度を確認し、取外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ③コンクリートがその自重及び施工中に加わる荷重を受けるのに必要な強度に達するまで、型枠・支保工を取外していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④型枠の組立に使用した鋼材付材及び壁つなぎの穴を、本体コンクリートと同等以上の品質を有するモルタル等で補修していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤マスコンクリートの場合は、温度ひび割れ抑制のため、型枠養生期間を考慮していること。	<input type="checkbox"/> 鉄筋の規格が品質を証明する書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> ①ミルゲル、品質証明書等で品質及び数量を確認できること。	<input type="checkbox"/> 鉄筋の引張強度、曲げ強度が試験値で確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリート打設までにさび、さび、油等の汚染物が鉄筋に付着し、必要に応じて洗浄しないよう保管管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①鉄筋の組立て及び組み立てからコンクリートを打込みまで、鉄筋位置のずれ、さびや油等の付着がないか点検し、清掃した後、打設していること。	<input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が設計図書に満足したものであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①施工前に、配筋図、鉄筋組立図、及びおりの詳細図により組立可視図を準備し、配筋位置を点検したかぶりになっているかを確認し、必要に応じて調整する。 <input type="checkbox"/> ②全ての鉄筋の交点をφ18mm以上のなまし鉄線又はクリップで接続していること。 <input type="checkbox"/> ③上部の鉄筋の固定は、鋼筋の固定用クリップ、打設後の2時間以内で接続していること。 <input type="checkbox"/> ④鉄筋の固定は、鋼筋の固定用クリップ、打設後の2時間以内で接続していること。 <input type="checkbox"/> ⑤鉄筋の固定は、鋼筋の固定用クリップ、打設後の2時間以内で接続していること。	<input type="checkbox"/> 圧装作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①圧装工は、JIS Z 3831 (ガス圧装設備)に定める試験方法及び判定基準)に定められた試験のうち、その作業に該当する試験の技量を有する技術者の資格証明書の写しを監督員に提出した資料及び本人が行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②自動ガス圧装装置を取り扱う者は、JIS Z 3112 (鉄筋コンクリート用降機)に規定する降機を操縦・アセチレン炎により圧装する技量を有する技術者本人が行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/> スパルサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①型枠に接するスパルサーは、本体コンクリートと同等以上の品質を有するコンクリート製かぶり用スパルサーを使用している。 <input type="checkbox"/> ②上記以外のスパルサーを使用する場合は、コンクリート製かぶり用スパルサーに同等以上の品質を有するコンクリート製かぶり用スパルサーを使用している。 <input type="checkbox"/> ③鉄筋の加蓋性を考慮して、スパルサーは鉄筋の周囲に接しないよう、事前に監督員との協議を要したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ④設計図書に特別に定めがない限り、鉄筋のかぶり用スパルサーを配置し、構造物の表面で2層/m ² 以上、構造物の表面で4層/m ² 以上設置したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑤鉄筋のかぶり(コンクリート表面から鉄筋までの最短距離)が、設計図書に満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/> コンクリート養生が、仕様書に定められた通り行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①養生期間中に養生材が剥離した場合は、養生材を剥離した部分に養生材を貼付し、養生材の剥離した部分に養生材を貼付していること。(必要に応じて)養生材の養生期間中に養生材が剥離した場合は、養生材を剥離した部分に養生材を貼付し、養生材の剥離した部分に養生材を貼付していること。 <input type="checkbox"/> ②養生期間中に養生材が剥離した場合は、養生材を剥離した部分に養生材を貼付し、養生材の剥離した部分に養生材を貼付していること。 <input type="checkbox"/> ③養生期間中に養生材が剥離した場合は、養生材を剥離した部分に養生材を貼付し、養生材の剥離した部分に養生材を貼付していること。 <input type="checkbox"/> ④養生期間中に養生材が剥離した場合は、養生材を剥離した部分に養生材を貼付し、養生材の剥離した部分に養生材を貼付していること。 <input type="checkbox"/> ⑤養生期間中に養生材が剥離した場合は、養生材を剥離した部分に養生材を貼付し、養生材の剥離した部分に養生材を貼付していること。	<input type="checkbox"/> 養生期間中に養生材が剥離した場合は、養生材を剥離した部分に養生材を貼付し、養生材の剥離した部分に養生材を貼付していること。 <input type="checkbox"/> 養生期間中に養生材が剥離した場合は、養生材を剥離した部分に養生材を貼付し、養生材の剥離した部分に養生材を貼付していること。 <input type="checkbox"/> 養生期間中に養生材が剥離した場合は、養生材を剥離した部分に養生材を貼付し、養生材の剥離した部分に養生材を貼付していること。 <input type="checkbox"/> 養生期間中に養生材が剥離した場合は、養生材を剥離した部分に養生材を貼付し、養生材の剥離した部分に養生材を貼付していること。 <input type="checkbox"/> 養生期間中に養生材が剥離した場合は、養生材を剥離した部分に養生材を貼付し、養生材の剥離した部分に養生材を貼付していること。

工事成績採点の調査項目の調査項目別運用表

(検査員)

調査項目	細別	a	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行った。
	区画線等設置 工事	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導設置基準、道路標識(ドブ)等の規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の床堀りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 「コンクリート構造物工事」を参照 <input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①地盤の必要地耐力を平板載荷試験などにより確認して施工している。 <input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の根入れ長が、設計図書の様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①支柱の打設に当たり、立込みセットから根入れ長さ分の打込み状況及び打止めの一連が写真などで確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケールを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①所定の張力(A種:20kN、B種及びC種:9.8kN)を確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケールの端未支柱を土中に設置する場合、打設コンクリートが設計図書に定められた強度以上であること <input type="checkbox"/> A・D付式(常温式)区画線に使用するツガ-の使用量が、10%程度以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線施工後の断面及び夜間の可視性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって、設置箇所の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となり、路面への影響が最小値となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アーマーの施工にあたって、路面に劣等品を差入れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 その他 ※ 理由 <input type="checkbox"/> 品質のばらつき度 <input type="checkbox"/> ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。 <input type="checkbox"/> ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。 <input type="checkbox"/> ばらつきが規格値の概ね80%を超える。 <input checked="" type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行った。
Ⅲ. 出来ばえ	区画線等設置 工事	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> 塗装の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 可視性が良い。 <input type="checkbox"/> 接縫状態が良い。 <input type="checkbox"/> 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> b やや優れている	<input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。	<input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	●判断基準 該当4項目以上.....a 該当3項目.....b 該当2項目.....c 該当1項目以下.....d	
	品質	※ 理由 <input type="checkbox"/> 品質のばらつき度 <input type="checkbox"/> ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。 <input type="checkbox"/> ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。 <input type="checkbox"/> ばらつきが規格値の概ね80%を超える。 <input checked="" type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行った。

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	<input type="checkbox"/> 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
	標識工事	「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 防護柵設置要綱、視線誘導設置基準、道路標識の設置の仕様が規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵等の床面及び土のり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 防護柵の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 「コンクリート構造物工事」を参照 <input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 基礎設置場所において地盤の耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①地盤の必要耐力を平板載荷試験などにより確認して施工している。 <input type="checkbox"/> 防護柵の支柱の植入れ長が、設計図書仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①支柱の打設に当たり、立込みセットから根入れ長さ分の打込み状況及び打止めの一連が写真などで確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケールを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①所定の張力(A種:20kN、B種及びC種:9.8kN)を確認できる。 <input type="checkbox"/> ガードケールの端未支柱を土中に設置する場合、打設コンクリートが設計図書に定められた強度以上であること <input type="checkbox"/> A、B型(常温式)区画線に使用する沙の比重が、10%程度以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の厚さが厚本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線施工後の風間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の施工にあたって、設置部面の水分、泥、砂じん及びほりを取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の消去の場合、表示材(塗料)のみの除去となり、路面への影響が最小値となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プライマの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 その他 :理由 ※ 品質のばらつき度 ○ ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。 ○ ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。 ○ ばらつきが規格値の概ね80%を超える。 ● ばらつきで判断不可能	品質のばらつき度 90%以上 75%以上90%未満 60%以上75%未満 60%未満	ばらつきで判断可能 50%以下 a' a b' b c' c	ばらつきで判断不可能 50%以下 a' a b' b c' c			
III. 出来ばえ	標識工事	<input type="checkbox"/> a 覆れている <input type="checkbox"/> 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 標識板の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 標識板の支柱に歪みがない。 <input type="checkbox"/> 支柱基礎が入念に構築されている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> b やや覆れている	<input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。	<input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている	● 判断基準 該当4項目以上.....a 該当3項目.....b 該当2項目.....c 該当1項目以下.....d		

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員等)

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	地すべり防止工事(集水井工事含む)	品質関係の試験結果のばらつきと試験対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 ★ 判断基準参照 >	品質関係の配合試験及び試験繰り返しを行い、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物含量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制剤等)を確認できる。	品質関係の配合試験(配合試験を省略できる場合は配合計画書で)、強度、単位セメント量、単位骨材量、単位水量、W/C(又はW/B)、最大骨材粒径、塩化物含量、アルカリ骨材反応抑制剤等を確認でき、適切なコンクリートの品質を確保していることが確認できること。	品質関係の配合試験を実施していない場合は、評価しない。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行った。
	★ 前の品質シート及び地滑り防止工事)と全く同じ。 ★ 「出来ばえ」が、コンクリート構造物と地滑り工との差異。 ★ 「出来ばえ」の内容を考慮してシートを選択すること。	「評価対象項目」 【共通】 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験繰り返しを行い、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物含量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制剤等)を確認できる。 <input type="checkbox"/> ①配合試験の結果(配合試験を省略できる場合は配合計画書で)、強度、単位セメント量、単位骨材量、単位水量、W/C(又はW/B)、最大骨材粒径、塩化物含量、アルカリ骨材反応抑制剤等を確認でき、適切なコンクリートの品質を確保していることが確認できること。 <input type="checkbox"/> ②配合試験が必要なしに事前に必要な試験を実施しており、強度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。 <input type="checkbox"/> ③受入検査を実施しており、強度、スランプ、空気量等が適正である。 <input type="checkbox"/> ④強度試験用の供試体の作成及び養生の状況が確認できること。 <input type="checkbox"/> ⑤強度試験の方向、焦点が不適切で目盛が読み取れないものは、評価しない。 <input type="checkbox"/> ⑥試験強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑦養生時間、打設時の投入高さ、締固めのバリエータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることと確認できる。(養生中及び養生中コンクリート等を含む) ★ 「コンクリート構造物工事」を参照 <input type="checkbox"/> ①表面水の急激な蒸発を防ぐため、打込み直後はシート等で日よけや風よけを設けていること(必要に依りて) <input type="checkbox"/> ②表面を乾かさないうちに作業が完了する状態まで硬化した後は、養生マットを敷きつらして覆うか、敷水、濡水していること。 <input type="checkbox"/> ③せき板(型枠)が乾燥する恐れがある場合は、せき板(型枠)にも敷水していること。 <input type="checkbox"/> ④養生期間を満足し、常に湿潤状態を保っていること。 <input type="checkbox"/> ⑤養生期間中に養生、蒸気養生、その他の促進養生方法を行っていること。 <input type="checkbox"/> ⑥養生養生を行う場合は、監督員と協議していること。 (ダムコンクリート) <input type="checkbox"/> ①岩盤上にダムコンクリートを行打込む場合：岩盤のゆるんだ岩、岩層、その他の異物を除去し、湧水がある場合はコーキングによる止水やバリエータの立て込み等により適切に湧水の排除をしていること。 <input type="checkbox"/> ②ダムコンクリート上に新しくコンクリートを行打込む場合：コンクリートが完全に硬化する前に圧力水や電動ブラシ等で除去(グリーンカット)していること。 ★ 打撃目表面のチップングは骨材を露出させる懸念があるので不可。 ★ グリーンカット後、打設までに汚損した場合は再度圧力水等で清掃すること。 <input type="checkbox"/> ③ダムコンクリートと岩盤、新旧コンクリートの打継目：コンクリートの品質を損なわない配合のモルタルを敷込んでおくこと。 ★ モルタルの水セメント比：コンクリートと同じか、それより小さいものであること。 <input type="checkbox"/> ④旧コンクリートに打継ぐ場合の材料が、0.75以上1.0未満リフトの場合で3日(中2日)、1.0以上1.5未満リフトの場合で4日(中3日)、1.5以上2.0未満の場合で5日(中4日)に達した後に、新コンクリートを行打継いでいること。 <input type="checkbox"/> ⑤コンクリート打込み/バリエータの下端が打込み1.0m以下であるし、打込み箇所のできるだけ近くに排出していること。 <input type="checkbox"/> ⑥打設したコンクリートに内部振動機を使用して型枠内で微移動を促すこと。 <input type="checkbox"/> ⑦コンクリートを行打込み箇所を連続して打ち込みし、同一区画内は連続して打ち込みすること。 <input type="checkbox"/> ⑧1リフトの高さは0.75m以上2.0m以下とし、同一区画内は連続して打ち込みすること。 <input type="checkbox"/> ⑨1リフトを数層に分けて打ち込む場合：締固めた後の1層の厚さが40~50cm以下となるように打ち込み、下層のコンクリートが固まり始める前に上層を打設し、内部振動機を下層のコンクリートの中に10cm程度挿入し、上層と下層が一体となるように締め固めていること。 <input type="checkbox"/> コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後、型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑩コンクリートの圧縮強度を確認し、必要な強度に達したことを確認して型枠及び支保工の取り外しを行っていること。 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ⑪撤入工などの地山との取り付け方法が適切であること。 <input type="checkbox"/> 鉄筋及び構材の品質が、証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> ★ 「コンクリート構造物工事」を参照 <input type="checkbox"/> 有害なクラックがない。 <input type="checkbox"/> ★ 「コンクリート構造物工事」を参照 <input type="checkbox"/> その他理由：						

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/> 同左	<input checked="" type="checkbox"/> 同左	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		<p>(※防構造物に適用)</p> <input type="checkbox"/> コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ★「コンクリート構造物工事」を参照 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が、設計図書仕様を満足していることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ★「コンクリート構造物工事」を参照 <input type="checkbox"/> 施工表面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①構造物の基礎底面、法面を平滑に仕上げていること。 <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 (グラウトアンカー工) <input type="checkbox"/> ①アンカーの掘削： 削孔位置、削孔径、長さ、方向が設計図書と一致しており、周辺の地盤を乱さないよう施工していること。 <input type="checkbox"/> ②既存構造物により定着層のスライム形状を把握し、削孔中にスライムは濁水により洗浄し、スライムを除去していること。 <input type="checkbox"/> ③削孔： 直線性を保つよう施工されており、削孔後の孔内は濁水により洗浄し、スライムを除去していること。 <input type="checkbox"/> ④アンカー鋼材に注入材の付着を許さずさび、油、泥等が付着していないこと。 <input type="checkbox"/> ⑤アンカー材の注入： 直線注入と加圧注入により所定の位置に正確に注入していること。 <input type="checkbox"/> ⑥孔内グラウト： 露底部から注入し、削孔内の排水、排気を確認を行い、所定のグラウトが孔口から排出していること。 <input type="checkbox"/> ⑦アンカーの緊張、定着： グラウトが所定の強度に達したのち、緊張力を与え、適正試験、確認試験、定着時緊張力確認試験等により変位特性を確認しながら所定の有効緊張力が得られるように緊張力を与えていること。 <input type="checkbox"/> ポルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ★「鋼構工事」を参照 <input type="checkbox"/> ポルトの締付機及び判定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ★「鋼構工事」を参照 その他 理由： <input type="checkbox"/> 【地すべり対策工事（抑止杭・集水井工事含む）】 <input type="checkbox"/> アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 【抑止アンカー工】 <input type="checkbox"/> ①アンカーの掘削： 削孔位置、削孔径、長さ、方向が設計図書と一致しており、周辺の地盤を乱さないよう施工していること。 <input type="checkbox"/> ②既存構造物により定着層のスライム形状を把握し、削孔中にスライムは濁水により洗浄し、スライムを除去していること。 <input type="checkbox"/> ③削孔： 直線性を保つよう施工されており、削孔後の孔内は濁水により洗浄し、スライムを除去していること。 <input type="checkbox"/> ④アンカー鋼材にグラウトからの付着を許さずさび、油、泥等が付着していないこと。 <input type="checkbox"/> ⑤グラウト： 露底部から注入し、削孔内の排水、排気を確認を行い、所定のグラウトが孔口から排出していること。 <input type="checkbox"/> ⑥グラウト注入終了後、テントの挿入： 有害な損傷や変形を与えない方法を用いて所定の位置に正確に挿入し、グラウトが硬化するまでテントが動かないように保持していること。 <input type="checkbox"/> ⑦グラウトが設計図書に示された強度に達した後、設計図書に示された差引張力力が得られるように初期緊張力を与えていること。 <input type="checkbox"/> ライナープレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。 <input checked="" type="checkbox"/> ④ライナープレートに偏心や歪が無いこと。 <input type="checkbox"/> ライナープレートと地山との隙間が少なくなるよう施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①ライナープレートと地山との隙間は、裏込注入材により充填していること。 <input type="checkbox"/> 集・排水ボーリング工の方向及び角度が、適正となるよう施工上の配慮をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①地すべりの状況把握し、掘削中の地質構造、湧水等を詳細に記録し、9ハリ面と掘削深度の関係や排水効果を確認しながら施工している。 <input type="checkbox"/> ②設計図書と方向、角度、掘削径、掘削深度が一致していること。 その他 理由： <input type="checkbox"/> 品質のはらつき度 <input checked="" type="checkbox"/> ばらつきが規格値の概ね50%程度以内である。 <input type="checkbox"/> ばらつきが規格値の概ね80%程度以内である。 <input type="checkbox"/> ばらつきが規格値の概ね80%を超える。 <input checked="" type="checkbox"/> ばらつきで判断不可能	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。 <判断基準参照>	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が文書で指示を行い改善された。			
III. 出来ばえ	地すべり防止工事(集水井工事含む)	<input type="checkbox"/> a 覆れている <input type="checkbox"/> 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 施工管理記録などから不確か部分の出来ばえの良さが伺える。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> b やや覆れている	<input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。	<input checked="" type="checkbox"/> d 劣っている			

●判断基準

評価	ばらつきで判断可能	ばらつきで判断不可能
90%以上	a	a'
75%以上90%未満	a	b
60%以上75%未満	b	b'
60%未満	b	c
	c	c

(注)試験結果の打点数等が少なくばらつきで判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

- 判断基準
- 該当3項目以上..... a
 - 該当2項目..... b
 - 該当1項目..... c
 - 該当項目なし..... d

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

審査項目	細別	a'				b'		c	d	e
		a	a'	b	b'	c				
3. 出来形及び出来ばえ	II. 品質 補強土壁工事	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 盛土材料の土質が適正である。 <input type="checkbox"/> ①裏込め土に砂質土など良質土を用いており、その内部摩擦角(φ)が設計図書で示された値以上であることが現地試験か、または品質証明書で確認できる。	<input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている <input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行った。			
		<input type="checkbox"/> 「評価対象項目」 <input type="checkbox"/> 盛土の締め固めを適切な条件(人力機械別、巻き出し厚・動均し・転圧作業等)で施工されている。 <input type="checkbox"/> ①人力による施行と機械施行による締め固めの区別が確認できる。 <input type="checkbox"/> ②施工計画書に記載してある一層の巻き出し厚が確認できる。 <input type="checkbox"/> ③動均し及び壁面背後の転圧作業が丁寧に施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレキャスト製品・材料等の品質が工場管理資料よりの確に確認できる。 <input type="checkbox"/> ①プレキャストコンクリート製品の配合報告書により水セメント比・材齢による強度・塩化物総量などが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②壁面引張り材において、引張り強度が品質証明書などにより確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件に耐した排水対策が施工時を含め適切に講じられている。 <input type="checkbox"/> ①壁面排水(細目多孔隙)においては、フィルター材の最小孔径と多孔隙の孔径が適切に設定されており、周りの土砂が多孔隙に入ってしまうことを起ささないよう適切に透水シートなどで覆っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②裏込め排水では、内部排水が補強土壁外に排水可能となっており、排水系統処理が連続していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土の締め固め管理(密度等)が適切に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①陥床及び陥層工の締め固めを、修正CBH試験で得られた動透水比付近で行っていること。 <input type="checkbox"/> その他 :理由 <input type="checkbox"/> その他 :理由 <input type="checkbox"/> その他 :理由 ●判断基準 ※ 該当項目が6項目以上..... a' ※ 該当項目が5項目..... a' ※ 該当項目が4項目..... b' ※ 該当項目が3項目..... b' ※ 該当項目が2項目以下..... c'	<input type="checkbox"/> aより優れている <input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> cより優れている <input type="checkbox"/> dより優れている	<input type="checkbox"/> 盛土の締め固めを適切な条件(人力機械別、巻き出し厚・動均し・転圧作業等)で施工されている。 <input type="checkbox"/> ①人力による施行と機械施行による締め固めの区別が確認できる。 <input type="checkbox"/> ②施工計画書に記載してある一層の巻き出し厚が確認できる。 <input type="checkbox"/> ③動均し及び壁面背後の転圧作業が丁寧に施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> プレキャスト製品・材料等の品質が工場管理資料よりの確に確認できる。 <input type="checkbox"/> ①プレキャストコンクリート製品の配合報告書により水セメント比・材齢による強度・塩化物総量などが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②壁面引張り材において、引張り強度が品質証明書などにより確認できる。 <input type="checkbox"/> 現場条件に耐した排水対策が施工時を含め適切に講じられている。 <input type="checkbox"/> ①壁面排水(細目多孔隙)においては、フィルター材の最小孔径と多孔隙の孔径が適切に設定されており、周りの土砂が多孔隙に入ってしまうことを起ささないよう適切に透水シートなどで覆っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②裏込め排水では、内部排水が補強土壁外に排水可能となっており、排水系統処理が連続していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 盛土の締め固め管理(密度等)が適切に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①陥床及び陥層工の締め固めを、修正CBH試験で得られた動透水比付近で行っていること。 <input type="checkbox"/> その他 :理由 <input type="checkbox"/> その他 :理由 <input type="checkbox"/> その他 :理由 ●判断基準 ※ 該当項目が6項目以上..... a' ※ 該当項目が5項目..... a' ※ 該当項目が4項目..... b' ※ 該当項目が3項目..... b' ※ 該当項目が2項目以下..... c'	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行った。				
III. 出来ばえ	補強土壁工事	<input type="checkbox"/> a優れている <input type="checkbox"/> 壁面材(コンクリート製品)の割れ・カケがない。 <input type="checkbox"/> 基礎上面の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 壁面材の目違い、段差が少なく構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。	<input type="checkbox"/> bやや優れている <input type="checkbox"/> c他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> c他の評価に該当し <input checked="" type="checkbox"/> d劣っている	●判断基準 該当4項目以上..... a 該当3項目..... b 該当2項目..... c 該当1項目以下..... d					

審査項目	細別	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来ばえ	II. 品質	<input type="checkbox"/> 優れている <input type="checkbox"/> 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 <input type="checkbox"/> ①固結工法のセメントミルク噴出攪拌方式による場合は、セメントミルク比重、噴出量及び強度などが管理資料から確認できること。 (シールド工) <input type="checkbox"/> セグメントの規格・品質がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> ①セグメントの規格及び品質がセグメント製作要領書・図面に基づいていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。 <input type="checkbox"/> 二次コンクリート打設前に、付着物除去のための十分な水洗清掃を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①二次掘削工に使用する鋼管型枠や一次掘削工面の付着物をコンクリート打設前に水洗い清掃をしていること。 <input type="checkbox"/> 常に切刃及び地表面の状態を観察して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ①シールド掘進中、常に掘削工量を監視し、所定の掘削工量を上回る土砂の取込みが生じないよう適切な施工管理をしている。 <input type="checkbox"/> ②シールド掘進路線上（地上）に沈下測定点を設け、掘進前、掘進中及び掘進後の一定期間、定期的に沈下量を測定している。 <input type="checkbox"/> シールド推進作業等がデータで確認できる。 <input type="checkbox"/> ①シールド掘進中、1日に1回以上及び掘進後の一定期間、定期的に沈下量を測定している。 <input type="checkbox"/> 裏込め注入状況がデータで確認できる。 <input type="checkbox"/> ①セグメントに漏れが生じないよう、恒圧にて下方から上方へ左右対称に注入を行い、注入材を空隙の隅々まで行きわたっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> ②裏込め注入時の注入量、注入圧などが管理データで確認できる。 <input type="checkbox"/> 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。 <input type="checkbox"/> ①固結工法のセメントミルク噴出攪拌方式による場合は、セメントミルク比重、噴出量及び強度などが管理資料から確認できること。	<input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> ①固結工法のセメントミルク噴出攪拌方式による場合は、セメントミルク比重、噴出量及び強度などが管理資料から確認できること。	<input type="checkbox"/> やや優れている <input type="checkbox"/> ①固結工法のセメントミルク噴出攪拌方式による場合は、セメントミルク比重、噴出量及び強度などが管理資料から確認できること。	<input type="checkbox"/> Cより優れている <input type="checkbox"/> ①固結工法のセメントミルク噴出攪拌方式による場合は、セメントミルク比重、噴出量及び強度などが管理資料から確認できること。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない <input type="checkbox"/> ①固結工法のセメントミルク噴出攪拌方式による場合は、セメントミルク比重、噴出量及び強度などが管理資料から確認できること。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であった <input type="checkbox"/> ①固結工法のセメントミルク噴出攪拌方式による場合は、セメントミルク比重、噴出量及び強度などが管理資料から確認できること。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切で
III. 出来ばえ	下水道工事	<input type="checkbox"/> a 優れている <input type="checkbox"/> 通りがよい。 <input type="checkbox"/> 漏水がない。 <input type="checkbox"/> クラックがない。 <input type="checkbox"/> マンホール末端と路面とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> マンホールのインパートの仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 殊土等は適切に処理されている。	<input type="checkbox"/> b やや優れている <input type="checkbox"/> ①固結工法のセメントミルク噴出攪拌方式による場合は、セメントミルク比重、噴出量及び強度などが管理資料から確認できること。	<input type="checkbox"/> c 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> d 劣っている	●判断基準 該当5項目以上・・・a 該当4項目・・・b 該当3項目・・・c 該当2項目以下・・・d		

工事成績採点の審査項目別運用表

(検査員)

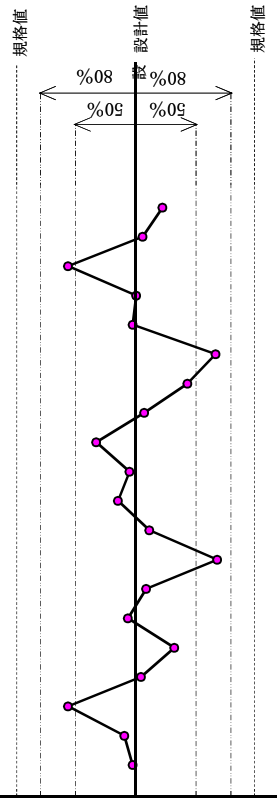
審査項目	補別	a'				b'		c	d	e
		a	a'	b	b'	c	d			
3. 出来ばえ	II. 品質 仮設工事	<input type="checkbox"/> 優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> やや優れている	<input type="checkbox"/> Cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善された。</p>	<p>品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が文書で指示を行い改善を行った。</p>		
		<p>「評価対象項目」 【共通】</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設材にそり、ゆがみ、傷がない。</p> <p><input type="checkbox"/> ①搬入した仮設材の劣化度の手チェック状況が写真等で確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ②写真等で仮設材にそり、ゆがみ、傷がないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設材の組立・設置が確実になされ、かつ点検も行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> ①設置した仮設材の変位や沈下等を毎日点検しており、その記録が確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺環境（騒音・振動・地盤変動等）に配慮した施工方法で実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> ①対象法令基準値（騒音・振動）を満足した施工レベルを確保していることが施工記録等から確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ②仮設材設置周辺地盤の沈下や水平変位が、管理基準許容レベル内を維持しながら施工していることが施工記録等から確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工記録等により設計条件に適合した搬入れ長で施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> ①土留め矢吹や杭等の設置が、出来形図などより必要搬入れ長を確保できている。</p> <p><input type="checkbox"/> 排水を考慮し、良好な床付け面を確保している。</p> <p><input type="checkbox"/> ①床付け面の隅に地下水処理の麻罫を設けて常時排水処理しながら、床付け面をドライ施工で行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他</p> <p>：理由</p> <p>：理由</p> <p>：理由</p> <p>：理由</p> <p>●判断基準</p> <p>※ 該当項目が6項目以上.....a</p> <p>※ 該当項目が5項目.....a'</p> <p>※ 該当項目が4項目.....b</p> <p>※ 該当項目が3項目.....b'</p> <p>※ 該当項目が2項目以下.....c</p> <p>注) 記載の5項目を必須の評価対象項目とし、その他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p>								
III. 出来ばえ	仮設工事	<input type="checkbox"/> a優れている	<input type="checkbox"/> bやや優れている	<input type="checkbox"/> c他の評価に該当しない	<input checked="" type="checkbox"/> d劣っている	<p>●判断基準 該当4項目以上.....a 該当3項目.....b 該当2項目.....c 該当1項目以下.....d</p>				

別紙-4 出来形及び品質のばらつきの方

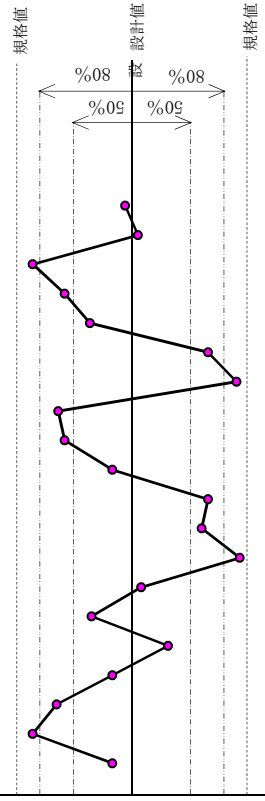
[管理図の場合]

(上・下限値がある場合)

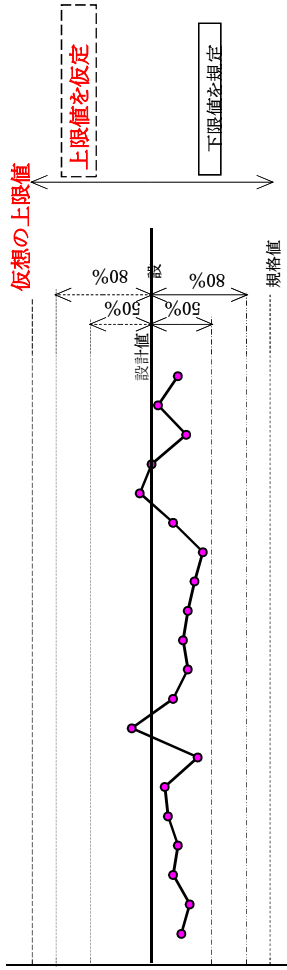
①ばらつきが50%以下と判断できる例



②ばらつきが80%以下と判断できる例



(下限値のみの場合)

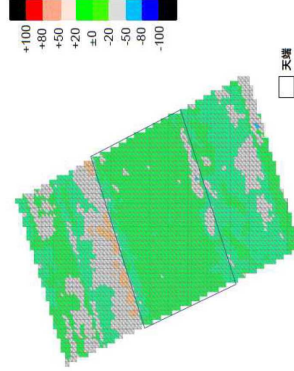


③ICT活用工事の例

出来形可否判定総括表の分布図や計測点の個数によりばらつきを半判断
ばらつきが50%以下と判断できる例

天端の ばらつき	規格値の±80%以内 のデータ数	1000
法面の ばらつき	規格値の±50%以内 のデータ数	997
	規格値の±80%以内 のデータ数	1700
	規格値の±50%以内 のデータ数	1360

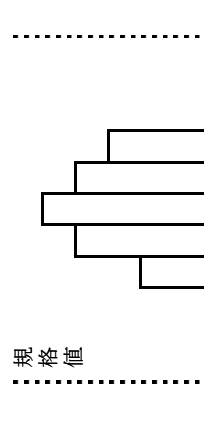
※上表は右図の場合



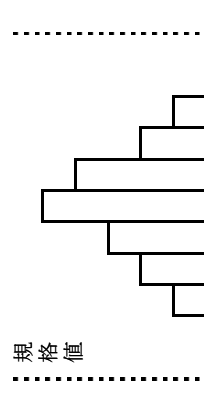
□天端

[度数表またはヒストグラムの場合]

ばらつきが小さい



ばらついている



ばらつきが大きい

